

A G A R O O T

A C A D E M Y

合格者の最短ルート

合格

令和6年合格者

体験記



令和6年

宅地建物取引士試験合格

アガルートのテキストだけで1発合格できた

岡田 真友子さん

20代

会社員

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

宅建試験の受験回数：1 回目

宅建試験を目指した理由・契機

全く違う業種に従事しておりますが、自分の将来の保険として、独占業務のある士業の資格を取得したいと思ったことがきっかけです。簡単ではない資格ですが、コスパが良く給料アップに繋がると聞いていたので受験をしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

全く違う業種に従事し週5日勤務の社会人かつ初学者であるため、独学では難しいと思い、通わずに自宅で受講できるオンライン講座で勉強しようと考えました。いくつかオンライン予備校の資料を取り寄せた中で1番ピンときたアガルートに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

試験の年の1月からアガルートの講座を受講し始めました。6月までに、テキスト予習→講義受講→テキスト復習→過去問 の流れで全科目の講義を受講し、7月からは模試などの演習も含めて学習を進めました。基本的に1日1～2時間勉強し、直前期の土日は1日4～5時間勉強していました。1番意識していたことは、アガルート以外の教材に手を出さないことです。いろいろな教材に手を出したとしても、結局あれもやらなきゃこれもやらなきゃと焦ってしまうことと、何をやればいいか分からなくなってしまうと考えたからです。実際に外部の模試受講以外はアガルートの教材のみで勉強しました。私は直前期も模試はあまり解かず、アガルートの講師の方に教わった通りテキストと過去問を中心に

勉強していたことは合格に繋がったと思っています。社会人になってから時間が無い中で、大学受験並みと言っても良いくらいに勉強したのは初めてで、周りに一緒に頑張れる仲間もおらず辛かったですが、アガルートの講師の方のお言葉に励まされていました。毎回の講義動画も、講師の方が面白い話を交えて説明してくれるので飽きずに視聴することができました。思い切って受験を決めて合格することができて良かったです。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

私の宅建勉強は、アガルートの入門総合講義が主軸でした。入門総合講義で良かったポイントは3つあります。1つ目は講義動画の短さです。講義動画が1本10分程度～20分程度であり小分けにされていました。時間がない社会人にとってスキマ時間での受講がしやすく、動画が長くて飽きることがないのでやる気が出やすかったなと思っています。2つ目はテキストの分かりやすさです。実際の試験よりも簡単にしている訳でもなく、分かりやすくシンプルにまとめてありました。大事なポイントの漏れがないどころか、実際に試験に出て戸惑っていた人が多かった問題の内容がアガルートのテキストには載っていて講義動画で話も聞いていたため、無事得点することができました。3つ目は講師の方の質の良さです。実際に1人で孤独に講義動画を視聴していても、ところどころ面白いエピソードを交えてくださるので、楽しく視聴ができていました。大事なポイントがどこなのかがとても分かりやすくて、復習もしやすかったです。このように、初学者の私でも継続して受講しやすい講義だったので、入門総合講義メインに知識をインプットすることができました。宅建受験生全員におすすめできる講義だと思います。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

アガルートの講師の方は、とにかく過去問、過去問、過去問と仰っていたので、分野ごとに、テキスト勉強＋講義動画視聴後に纏めて過去問を解くという流れを3周し、さらに3周とも間違っていた問題は何度も復習をしました。分野ごとに問題がまとまっており傾向を掴みやすかったです。また問題のすぐ後ろのページに解答解説が載っており、スムーズに過去問演習ができました。過去問解説の動画が公開されており、解答解説だけで分からなかった問題も理解することができました。重要度に応じてランク付けがされていたこともあり、過去問解説講座のみで十分に出题の傾向を把握することができたので良かったです。模試をたくさん解かずとも過去問で合格できる力が付きました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

択一解法テクニック講座は科目の講義受講を進めつつ合間に視聴していました。私が1番試験に役立ったと感じたのは、「～することはない」などの言葉の言い回しの傾向の話で、特に免除科目の土地、建物の問題を解く時に思い出して意識していたら得点することができました。テクニック講座があることで、やはりある程度テクニックも必要などころがあるのだと意識できたことも良かったなと思います。特に1人で勉強を進めていて情報収集がしにくい人におすすめしたいです。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

私は大学で法律の勉強をしていたこともなく、宅建業法は現職でも全く関係の無い分野なので、宅建業法の理解を深めるのにとっても役立ちました。一通り宅建業法の知識をインプットした後に受講したため、受講後は知識強化でき理解が深まった実感がありました。法律の勉強には少し抵抗があり条文を読み進めるのは難しそうでハードルが高いと思っていたのですが、先に大体の知識をインプットした後に受講したのが良かったです。講座受講後も問題演習の際に理解出来なかった点は宅建業法逐条ローラーインプットのテキストで再確認をしていました。メインの講義ではないけれど、知識の裏付けとして、特に法律に触れる機会がない受験生には必要な講義だなと感じました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

8月頃から過去問答練を利用しはじめ、第1回～第5回までをそれぞれ期間を空けて2回ずつ解きました。

過去問答練を解く際は時間を計って解き、試験本番の時間配分をどうするかを考えていたので、模試でも本番でも見直しの時間を残して解き切ることができました。過去問答練の復習を念入りにするというよりは過去問答練を通して苦手分野を発見することができたので、苦手分野の知識強化に時間をかけていました。模試よりは過去問答練で試験に慣れるのが良いなと思いました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

民法判例問題攻略講座は演習を本格的に始めた8月頃から受講をしていました。民法判例問題はじっくり読めば正解出来るものの、1問目で長文を読むという点で抵抗がありました。抵抗を無くす目的で、民法判例に絞った演習をしたことにより、模試や過去問で民法判例問題を失点することがなくなっていき、自信に繋がりました。民法判例問題に関しても詳しい解説講義の動画が公開されていたので、解答のコツを掴むことが出来たのかなと思っています。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

総まとめ講座は直前期の9月頃に、それまでにインプットした知識の復習の目的で受講をしていました。見開きで分野ごとに重要なポイントがまとまっており、一問一答もあるので、試験本番の日や前日の学習教材にしようと思い、講義を受講しながらポイントや苦手部分は自分でメモしていました。それまでにインプットした知識の整理がしやすくて良かったです。総まとめ講座の冊子は薄いので持ち歩きやすく、移動時間やスキマ時間の勉強にも活用していました。時間がなくて自分でまとめノートを作る必要がなかったことが一番のメリットだったかなと思います。入門総合講義に加えて、総まとめ講座が自分の勉強の大きな助けになっていたと感じています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は8月頃と直前の10月、2回解きました。過去問演習に力を入れていたので、

今まで見たことがない問題を解いて点数に落ち込んだこともありましたが、1、2回は時間も計って本番のように解いておいた方がいいと思って取り組みました。模試の点数は正直あまり伸びなかったのですが、ボーダー余裕で合格することができたので、模試はあくまで雰囲気や時間配分に慣れることが目的で、結果はあまり気にしないのが1番だということを実感しました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

講師の方が仰っていた、アガルートのカリキュラム通りに勉強すれば合格できる、というのは本当でした。ありがとうございました。

本試験の点数

【権利関係】 12点

【法令上の制限】 6点

【税その他】 2点

【宅建業法】 18点

【免除科目】 5点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

テキストや講義が自分の性格に合っていた

青葉 雪佳さん

20代

会社員

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

宅建試験の受験回数：2 回目

宅建試験を目指した理由・契機

会社で資格制度を案内する業務を担っており、案内する立場上、自身も持っていたいという思いが芽生えたため。

不動産関連企業に勤めており、宅建保有率が高い企業のため、自身も取得したいと考えたため。

上記理由に加え、社会人になってからきちんと勉強をすることも無かったため、国家資格に挑戦し合格できたらいいなと純粋に思ったため。

※1回目の受験は、申し込みはしたものの全く勉強をせず記念受験という形でした。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

宅建試験を取り扱っている資格学校の比較サイトにて、各校の特徴を比較した際、下記の点が良さそうだと感じたため。

- ・テキストの見やすさ
- ・網羅的に内容を取り扱っている点
- ・質問、フォロー制度
- ・HR制度
- ・合格特典

合格体験記・学習上の工夫

不動産関連企業に勤務しているものの、一般管理部門所属のため、宅建知識・実務経験は全くありませんでした。

また、受験勉強以来のポリュミーな勉強となるため、学習習慣も抜けており、完全な初学者として、学習をスタートさせました。

1月に申し込み、学習を開始したことから、ある程度時間はあったことと、性格的にも一つずつ理由を理解しながら学習を進めたことから、アガルートのテキストと小林先生の講義は、私には相性が良かったように感じます。申込受付後にどっさりと届くテキストに面食らいながらもワクワクしたのを鮮明に覚えています。

学習の進め方としては、

各分野大まかで良いので講義とテキストを一周させつつ分野別過去問を解く

→不明な箇所は講義とテキストに戻り確認後、問題演習

→テキストなしで理解できるようになれば、分野別過去問を周回

という形で進行していきました。

正誤の記録と、よく間違える問題は、なぜ間違えたかを記載しておくことが私には有効でした。

知識が抜けているのか、読み落としなのか、文章自体の意味が理解できていないのか、など、間違えた理由によって復習の仕方も変わってきますし、なにより時間が経つと間違えた理由までは思い出せないことが多いからです。

自分が苦手な箇所がパラパラと問題集を見返すだけでわかるので、直前期に集中して補充することにも役立ちました。

重要事項説明と37条書面の必須・任意の表など基本的ではありますが混乱しやすい箇所などは、重点的に直前期に振り返りました。

夏過ぎからは模試や過去問を取り入れ、全般的な知識が抜けないう工夫していました。

最初は理解すらできなかった宅建ですが、試験当日には自身の過去最高得点を出せるまでに成長できたことが何より嬉しいです。

身につけた学習習慣をそのまま、他の資格の取得へ向けていきたいと思います。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

テキストは実際の問題や条文に即したような文章で記載されており、最初こそ意味が理解できず苦しい時期もありましたが、その度に講義を聞き直しました。

耳では小林先生の噛み砕いた解説を聞きながら、目では難しい表現に慣れるというサイクルを回せたのはとても有効だったと感じます。

先生の話の中には例え話が出てくることがあり、実務未経験の私にとっては理解するためにとってもありがたかったです。

テンポ良いお話のされ方も、次々と聞きたくなるように感じるため、飽きずに学習し続けることができました。

そして個人的に嬉しかったことが、講義の先生（小林先生）がHRで自分の質問に答えてくれることです。

普段教わっている先生が自分のためにコメントをしてくれるという特別感のようなものも、モチベーション維持に役立ちました。

驚いたことが一つあり、民法は特に理解に時間がかかる印象がありましたが、宅建業法や他分野の学習を進めてから民法に戻ると、以前はさっぱり不明だった箇所も理解しやすく、問題演習でもきちんと解答できるようになっていたことです。（その逆も然りです）

そのため、学習を進めれば進めるほど、各分野が連動しあって理解が進むような感覚でした。

飽きない講義と知識が集束していくような感覚が楽しい学習となりました。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去10年分の問題を法改正に対応させた形で、手厚い解説とともに1冊にまとめてくれているというのが一番のお気に入りポイントです。

最初講義と連動させて学習する際には単元ごとにたくさん問題を解いて、強制的に覚えさせるような感覚で進めていけたので、暗記せずとも自然に覚えていけました。

（「以下」なのか「未満」のかななどの、細かいところはその後別途時間をかけて復習をしています）

個人的に使いやすかったのが、他の問題集などで時々ある、同ページに解答の記載がなく、かつ次ページが透けにくい紙質であったことです。

こういった細かいストレスが学習の妨げになるとと思いますので、それを感じさせないよう工夫して下さったことが嬉しかったです。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

宅建試験を熟知した先生による解法講座でしたので、信頼感を持って見ることができました。

試験慣れしていたり緊張していなければ、当たり前のことでも、試験当日は緊張して冷静になれない状態でしたので、そういえば工藤先生こう言っていたな、と思い出し、冷静さを取り戻して臨むことができました。

そのおかげがあり、過去問一周目や模試では取ることでできなかった合格点を大きく上回る本試験での得点になったと感じています。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

移動中や食事中などの、机に向かって学習する時間がない時に主に活用しつつ、過去問演習中に気になった箇所があった際にも目を通すことで、理解の一助とさせていただきました。

過去問で問われていることは、一部の知識でしかないため、全体を通して理解し、自信を持って問題に臨むために有用でした。

暗記用のペンで自分が間違えやすい箇所や、問題で問われやすい箇所に線を引いて、赤シートで隠して暗記に活用しました。暗記に不安がある箇所には×をメモしていくことで、暗記が甘い箇所を可視化しました。○だったからとはいえ、忘れている可能性もあるため、定期的に○の箇所も見返して、知識の定着を確認しました。持ち歩きしやすい点が使いやすかったです。

過去問答練のご感想・ご利用方法

最初軽く目を通した際に、分野別の過去問解説講座と同一の問題が掲載されているため、教材として有効なのだろうかと感じましたが、それは杞憂でした。

冊子になって全5回用意があるため、事前にスケジュール帳にいつ第何回を実施するか
の計画を立て、定期的に実施しました。

いざ解いてみると、見たことある問題ではあるのですが、なかなか解けない問題があり、知識の定着の甘さを実感しました。

本試験に類似した形式の冊子のため、実際の本試験と同じように演習を行うことができました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

判例問題は一見取り組みにくいですが、きちんと読解し、過去問解説講座で培った知識と合わせて考えれば、とても良い得点源となることを演習中に実感しました。

そんな判例問題が数多く収録されており、心強い印象を受けました。

他問題と同じように誤り選択肢をどう修正すれば良いかを考えながら解答をしていきました。

残念ながら2024年度の本試験には判例問題が出なかったものの、長めの問題文を処理する力が身についたと実感しています。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

過去の合格者の方もよくおっしゃっていますが、直前期の知識の確認のために大変役立ちました。

こちらについても暗記が必要な箇所に暗記ペンで線を引いて、赤シートで隠せるようにすることで、知識の確認ができるようにし、自分仕様にアレンジをして活用しました。

関連した問題（過去問の肢の一つ）の正誤問題が掲載されているので、実際に問題に触れることもできました。

使いやすく持ち運びしやすいため、お守りがわりとして携帯していました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

過去問と違い、初見問題に触れるという経験が、より本試験に近い形で緊張感を持って取り組めるため、模試の存在はありがたかったです。

また、法改正は本試験で問われやすい箇所ですが、問題ではどう問われるのかのイメージがなかなかつきません。

さらに、初見の問題は実際以上に難しく感じ（後で冷静になると簡単な問題でも難しく感じる）、焦ってしまいますが、そういった緊張にどう対処するか考えることができたため、模試問題を通して本試験の準備ができました。

本試験の点数

【権利関係】 11点

【法令上の制限】 6点

【税その他】 2点

【宅建業法】 19点

【免除科目】 5点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

初学者かつアガルートのみの受講で40点以上で合格

前田 英理子さん

30代

会社員

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：7か月

宅建試験の受験回数：1回目

宅建試験を目指した理由・契機

宅建試験を目指したきっかけは、家族が不動産関係の業務に従事していたこともあり、不動産という業界そのものに興味があったことです。現在は不動産とは関係ない仕事をしていることもあり、宅建試験勉強を通じて不動産のことをよりよく知っていければと考えていました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートの講座受講のきっかけは、無料体験の教材の内容の豊富さです。さまざまな教材がある中で、具体的にどういう教材でどのように授業が進められていくのかを知ることができ、またサンプル教材でもかなり授業を受けられたことがとても魅力でした。自分の勉強ペースなども早めにつかむことができ、合格者特典がモチベーションになったこともあり、受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

私が本格的に始めたのは3月中旬頃でした。先生方も講座やホームルームでおっしゃっていますが、大枠の勉強方法としてはまず入門総合講義で宅建試験において必要なベースの知識を学んでからは、過去問をひたすら回しながら不足していたり深掘りが必要な領域について補足していくことが大事だと感じました。昨今は初見の問題や選択肢等も増えてきて過去問だけで100%カバーすることは難しいですが、一方で確実に正解すべき問題を

正解して合格を目指すうえでは、やはり必須かつ有効な勉強方法だと思います。

また、最後の1カ月は過去問を回しながら総まとめ講座のテキストに自分で加筆しながら、オリジナルのまとめノートを作成しました。これを当日会場に持って行って見直すことで、自分が最後まで取りこぼすかもしれない知識を補強することにフォーカスしていました。

完全に知識が全くない状態からのスタートだったので、はじめはそもそも先生がおっしゃっている単語の意味などを理解するのにかなり時間がかかったのが正直なところでした。ただ、それでも諦めずに丁寧に講義を聞きなおす、過去問を回して自分なりに理解する、分からないところはオンラインで先生に質問をする、を繰り返せば合格はかなり近づくのではないかと思います。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

入門総合講義は、何より小林先生の説明が非常に分かりやすかったです。特に、権利関係の分野については、何も理解していなかった私に対しても、先生が丁寧に各単語や法律の概念について説明してくださったおかげで、初学者でも理解しやすいよう構成されており、学ぶ上で非常に助かりました。また、権利関係の問題においては、問題人物の関係性を絵や図で描いて整理することで、より直感的に理解できると感じたため、テキストの内容をビジュアル化しながら学ぼう意識し、視覚的な理解にも取り組みました。また、宅建業法や法令上の制限、税その他については、過去問を使って繰り返し復習することが学習のポイントだと考えていましたので、講義の中で重要だとおっしゃった部分や、自分自身が記憶しにくいと感じた部分にはハイライトを付け、後から見直しがしやすいよう工夫しました。

ひととおり講座を受けた後は、過去問を解いていくことで理解を深めていきました。テキストと過去問を行き来しながら学習することで、記憶力が確実に定着していったように感じます。自分が正解すべき問題のパターンや選択肢の傾向を把握できるようになり、着実に解答できる力を身につけることができました。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問については、まずは全く分からずとも一度解いてみて、解説を読み込むようにしました。問題を解く際にはどの周回においても、①すべての選択肢を自信を持って解けた、②100%の自信はないが何となく解けた、③解答を間違えた、の3つに分けて自分の理解度がどこにあるのか確認するようにしていました。そうすることで①の問題については次の周回をする際にはスキップして、②と③の理解を深めることに集中するためです。

解説を読んでテキストに出てきていなかったなど感じたところは都度テキストに関連する箇所に書き足して、後からテキストを読み返した際に知識が漏れないようにしていました。解説を読んでもいまいち理解しきれなかった場合は、過去問解説講座の講義を何度も聞き直して理解するよう努めました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

択一解法テクニック講座については、宅建を受験するのににおいて特に各セクションでどこにフォーカスして勉強すべきか、また選択肢で迷った際にどのように試験中に考えるべきかなどについて解説してくださっていました。

私は試験の日程が近づいてからこちらの講義を見たため有効的に活用できていなかったかとは思いますが、もっと余裕があったら一通り確認してから、試験当日の進め方などをじっくり考えるために有用だったのではないかと思います。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

宅建業法逐条ローラーインプット講座では、過去問を解く際に特によく出題される問題や、自分が間違えやすい問題に関連する条文を一度じっくりと読み、実際の内容を理解するよう心がけていました。特に毎年必ず出題される第35条や第37条については、重点的に学び、過去問と条文を照らし合わせながら、どのような選択肢として出題されることが多いのかを確認しました。

条文すべてを何度も繰り返し読む必要はないと思いますが、授業で先生方がおっしゃった内容をより明確に理解するため、テキストや過去問を行き来しながら補足資料として活用することが有効だと実感しました。このように条文や過去問を適切に組み合わせることで、理解が深まり、試験への準備がより確実なものとなったと感じています。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去問答練は、基本的に過去問や過去問解説講座と併せて使用し、過去問を周回する際の補助テキストとして活用していました。試験の日程が近づいてからこの講座に取り組み始めたため、最初から十分に活用できたわけではありましたが、試験が迫った時期には過去問に集中的に取り組む際に非常に役立ちました。このテキストを活用しながら過去問を効率的に回すことで、試験対策としての理解が深まり、苦手分野の克服や選択肢の傾向を把握することができたと感じています。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

権利関係のセクションでは、判例問題がかなり特殊であり、初めて取り組むと解きにくいことが多かったです。そのため、民法判例問題攻略講座を活用し、どのように問題を読み、考えれば良いのかを分かりやすく解説していただきました。この講座のおかげで、判例問題へのアプローチ方法や考え方のポイントが明確になり、理解が深まりました。基本的には過去問のテキストや講座を中心に学習していましたが、その中で特に理解が不十分だと感じた問題や苦手意識を持った部分については、この講座を視聴しながら学ぶようにしました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

学習上の工夫でも記載しましたが、総まとめ講座は、自分がこれまで取り組んできた総合講義や過去問の学習内容を一気に振り返るための重要な機会となりました。総まとめ講

座を視聴しながら、自分の中で不足していると感じた分野の選択肢やテキストの内容をノートに追記し、専用の知識ノートとしてまとめるようにしました。林先生の解説は非常に分かりやすく、各セクションの要点をしっかりとまとめてくださっていたおかげで、なるほど、こういうことだったのかと再度理解を深めることができたように思います。その後は過去問を再度繰り返し解きながら、まとめ講座のテキストを何度も読み返し、試験当日までしっかりと知識を詰め込むことを意識しました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は試験直前期（約1か月前）に、自分のこれまでの学習内容を確認する集大成の意味を込めて、本番に近い環境を用意して取り組みました。模擬試験の結果は30点程度とあまり良くなかったのですが、結果が悪かったからといって落ち込まず、あくまで自分が不足している知識や理解が不十分な領域を把握するための貴資料として捉えるよう意識しました。この模擬試験を通じて、自分の弱点を再確認し、奮起するきっかけとなったように思います。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

今年の宅建試験は死のガイドラインが出て話題になっていましたが、アガルートの教科書では取り上げられていたのが特に印象的でした。それだけアガルートの教科書は網羅的でテキストと過去問をしっかりと回していれば合格できる、を体現されていたと思います。

各講座での先生方の解説も丁寧でとても分かりやすく、初学者かつアガルートのみの受講で40点以上で合格できたのはひとえに先生方のおかげです。ありがとうございました。

本試験の点数

- 【権利関係】 10点
- 【法令上の制限】 8点
- 【税その他】 3点
- 【宅建業法】 17点
- 【免除科目】 5点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

4か月でもテンポよい講義で効率よく学習できた

岸 直弘さん

20代 学生

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：4か月

宅建試験の受験回数：2回目

宅建試験を目指した理由・契機

在学中になにか目標を立て達成しようと考え資格取得を目指しました。大学では法学を専攻しており、学んだ知識を定期試験だけで終わらせず活用したいと考え、法律系資格の中では比較的取り組みやすい宅建試験を選びました。すでに取得している友人が周囲にいたことも後押しとなりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

自分のペースで学べる映像学習であること、テキストや解説がわかりやすい、高い合格実績があることなどを条件に探しました。これらを満たしており、サンプルテキストや講義を実際に見て魅力を感じたためアガルートの受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

試験対策の学習は5月半ばから始めましたが、途中で大学の定期試験が重なったため、実際には4か月弱の学習期間でした。大学で法学を専攻しており民法の基礎知識があったため、まず権利関係から学習を始め、その後、業法・法令・税法の順に進めました。総合講義と過去問を活用しながら、小林先生がよく仰っていた「講義後すぐに過去問を解く」学習方法を実践しました。本試験で問われるポイントを意識し、理解を深めることを心掛けました。

約2か月半で総合講義と過去問を1周した後は、過去問を重点的に周回し、理解が不十

分な分野は総合講義に戻って再確認するという学習サイクルを徹底しました。過去問を繰り返す中で答えを覚えてしまう問題が出てきたため、選択肢ごとの正誤理由を判断し、正確な理解ができているか確認しました。また、間違った選択肢に印をつけて正答率を把握し、その後の過去問周回を効率的に進められるよう工夫しました。最終的に過去問は各科目4周ほどしたと思います。

学習では特にアウトプットを重視し、これが最も工夫した学習法だったと思います。通学時間や入浴時などの隙間時間を活用し、頭の中で総合講義や過去問解説と同じ説明を再現できるかを意識して取り組みました。この学習法によって、理解が不十分な箇所を正確に把握し、知識を定着させることができました。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

試験に向けた学習では、映像授業とテキストの両方を活用しましたが、その中でも「入門総合講義」を最も多く利用しました。

小林講師の授業は淡々とテンポよく進むスタイルで、一コマが比較的短く、集中力を維持しやすい構成だったため、忙しい中でも効率よく学習を進めることができました。さらに、授業開始前にその単元のポイントや学習の注意点を端的に説明していただけるおかげで、全体像を把握しながら学習を進められました。

テキストはイラストや表が多用されており視覚的にわかりやすく、さらに細かな内容まで記載されていた点がとても役立ちました。たとえ例年とは異なる出題や予想外の問題であっても、アガルトのテキストにはそれらも拾える内容が網羅されており、実際に本番で得点に繋がりました。シンプルながらも必要な知識をしっかりカバーしており、非常に使いやすいテキストでした。

利用方法として、効率よく学習することを意識していたため講義の視聴においては完璧に理解することにこだわらず、とにかく止まらずに進めることを意識しました。講義で取り上げられた暗記用の表や語呂合わせの資料については、板書する代わりに印刷して持ち歩いていました。

また、アウトプットを過去問だけでなく入門総合講義でも行いました。講義を受けた後は通学時や入浴時などのスキマ時間を利用して、頭の中で内容を反復し、思い出せない部分はすぐにテキストや講義を見直して知識を定着させました。試験は4科目あるため、講義を受けてから時間が経過して忘れてしまう分野もありましたが、倍速再生や音声データを活用して聞き直すことで効率よく理解を深めることができました。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問解説講座は、一つの解説が長くても10分程度でまとまっており、また林講師の小芝居などを交えた講義のおかげで飽きることなく受講を続けることができました。

過去問の一周目では、たとえ解けた問題であっても過去問解説講座を必ず視聴し、自分の解き方や考え方が正しかったかどうかを確認することを意識しました。単に正解することを目標にするのではなく、選択肢それぞれの正誤やその理由を理解することも意識して

いました。

また、講義では問題の特徴や選択肢の絞り方、注意すべきキーワードなど解き方の解説があったことで試験時間内に問題を解く力をつけることができました。すべての過去問の解説がなかったことが少し残念でしたが、わからない問題はオンライン質問サービスを利用して理解を深めていました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

学習計画通りに進められず、あまりこの講座に時間を割くことができませんでしたが、当時点数が伸び悩んでいたことと、1問にける時間を短くするという課題があったため、隙間時間を活用して音声聞き流しながら学習していました。他の講義よりもチャプターが少なかったため、忙しい中でも取り組むことができました。

宅建試験は四肢択一形式のため、消去法の使い方を学ぶことで、効率よく解き進めるコツを掴むことができました。過去問答練を繰り返す中で見直しに使える時間が増えていくのが実感できたことを覚えています。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

総合講義と過去問を一通り終えた後の課題は、「いかに宅建業法で安定して点を取れるか」でした。権利関係が一番時間をかけたものの、模擬試験や過去問答練での点数には浮き沈みがあり、その補填として宅建試験の得点源である宅建業法を確実に得点できるようにする必要がありました。その学習の一環として、宅建業法逐条ローラーインプット講座を活用しました。

講義を見る前に、自分で条文に目を通し、その内容や周辺知識を説明できるかを試すことで、この講座をアウトプット教材としても利用しました。テキストのようにかみ砕いた説明はなく、条文そのものを扱う内容だったため、最初は難しさを感じましたが、条文ごとに優先度が記されていたこともあり、重要なものから手を付けて知識を定着させることができました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去問を繰り返し解く中で、どうしても答えを覚えてしまい、実際に力がついているのか不安になることが多々ありました。そこで、試験同様の問題数、出題順で構成された過去問答練を使い本番をイメージしながら取り組む目的で使用しました。また、単なるアウトプットではなく時間配分や解き始める順番を探ることもとしても利用しました。5回分の過去問答練を回すことができたので、試験本番では練習通りの時間や順番で解き進めることができました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

大学の授業で学んだ判例があったことや勉強時間が限られていたことから、民法判例問題攻略講座は音声で一通り聞く程度でしか手を付けることができませんでしたが、宅建試験は毎年、判例解釈の問題が出題されていたので、解き方を学ぶつもりで受講しました。

法律を学んでいても、判例は言い回しや接続詞が独特で読みづらいため、この講義を通じて読み方やポイントの整理方法を見直すことができました。どの部分に着目すればいいのか理解することができ過去問の判例問題を解く際に、「解きやすい」と実感することができました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

総まとめ講座は、試験期間後半に時間が足りなくなったため、不安を感じていた分野に絞って視聴しました。講義自体はコンパクトにまとめられており、短時間で重要なポイントを復習するのに適していましたが、私自身は主にテキストを活用することが多かったです。

テキストは試験科目の内容がすべて一冊に収められており、持ち運びしやすかったため、隙間時間を有効活用する際に重宝しました。特に、総合テキストを持ち運べない外出時や通学中などに、このテキストを利用して重要なポイントを見直しました。試験範囲が広いため、全体を網羅しようとするとうとう時間も足りなくなりがちですが、総まとめテキストは要点が凝縮されているため、短時間で効率よく復習できた点がとても良かったです。試験当日、使っていたのも総まとめテキストでした。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験では、「初めて見る問題への対応力」と「実際の試験時間内で計画通りに解き終わる力」を確認したかったので取り組んだのは本試験直前の10月上旬でした。模擬試験では普段の勉強では気にかけていなかった細かな時間管理や初見問題の対応力が求められるため、焦る場面での冷静な判断力の必要性を痛感しました。また、宅建試験は例年科目の出題順が固定されているため、解き始める順番を試行する機会としても利用しました。間違えた問題は解説冊子を読み込み、テキストにも戻って復習することで理解が甘い分野や知識の穴を知ることができたことも大きな収穫でした。結果として、例年の合格基準点に届いていたので今までの勉強方法は正しかったのだと嬉しく思いましたし、そこから自信に繋がったことを覚えています。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

試験を終え振り返ってみた時、「独学ではここまで来れなかったな」というのが率直な感想です。総合講義、過去問解説講義共に受けていて楽しかったのが継続できた要因の一つだと思います。小林講師、林講師ありがとうございました。

本試験の点数

【権利関係】12点

【法令上の制限】7点

【税その他】2点

【宅建業法】19点

【免除科目】4点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

講義がおもしろく、受講が楽しかった

中川 理恵さん

20代 会社員

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：6か月

宅建試験の受験回数：1回目

宅建試験を目指した理由・契機

転職を考え始めた際、業界研究をする中で不動産業界に興味を持ち、宅建試験を受けることを決めました。現職が金融業であり、宅建の知識が全くない状態でのスタートでありましたが、絶対に1回で合格して転職したいという強い思いを持ち決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

通信講座でありながらの合格率の高さや、オンライン質問サービスのKIKERUKUNやオンライン演習サービスTOKERUKUN等豊富なサポート体制が整っている中での受講料の安さが魅力的でした。また合格特典もあったことも惹き付けられました。

合格体験記・学習上の工夫

学習上の工夫としては、1つ目に入門総合講義を受け終わるまで、講義を受けてすぐに受講範囲の分野別過去問を解くことです。これは入門総合講義の講師をして下さった小林先生が講義中に何度もおっしゃっていた方法です。講義を受けた直後はその範囲を1番理解をしている状態であり、その状態で問題を解くことで理解の定着、問題慣れも出来ました。また過去問で出た問題の内容が書いてあるテキストの部分に、過去問の番号を書くことも教えていただき、その通りにやっていました。それを書くことで、過去問の番号がたくさん書いてある部分はよく試験に出るということが一目で分かり、また過去問を解いて間違えた際に、テキストのどこに書いてあるのかが探しやすかったです。テキストに番号を書くだけでなく過去問にテキストのページ番号を書き込めば、テキストと過去問がよりリンクして、繰り返し解く際に探す時間をかけずに勉強ができるので効率も上がりました。

一通り講義を受け終われば、あとは過去問の反復です。3周目も間違えた部分には付箋をはり、間違えた問題を重点的に復習することを心がけました。聞きなれない言葉や難しい内容でも、毎日見ていれば理解出来る日が来ます。また仕事をしながらの勉強であり時間が限られていたため、オンラインサービスのTOKERUKUNを活用し、電車のスキマ時間も有効活用することで少しでも勉強時間を増やしていました。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

とにかく小林先生の講義がおもしろく、受講が楽しかったです。小林先生のキャラクターはさる事ながら、民法の難しい内容でも絵を描きながら分かりやすい例をあげていただき、頭にスッと入ってきました。高校受験や大学受験も経験してきましたが、当時塾で講義を受けていた際は眠くなってしまっていたのに、小林先生の講義は本当に楽しく飽きずに受講出来ました。また、覚えにくい法令上の制限の中の用途地域別の建築物の用途制限の部分や、その他細かい数字を覚えなくてはならない部分については語呂合わせや覚え方も教えていただけるので、初見では拒絶反応を起こしてしまいそうな範囲も分かりやすく楽しく学ぶことが出来ました。講義を一通り受け終わったあとは過去問を反復していましたが、過去問で解説を見ても、問題部分のテキストを読んでも分からない問題があるときは、改めて該当する講義を受けることで理解していました。また、アガルトの講義の多くが1本10分ほどと短いため、まとまった時間が取りにくい自分にとってとてもありがたかったです。宅建は社会人の方が受ける割合が多いと思いますので、私と同じように仕事をしながら試験を目指す人にとって使いやすいのではないかと思います。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問の解説自体、同じような問題が何度も出ていても毎回しっかりと解説が書いてあり、特に大事な部分は下線が引いてあるのでとても分かりやすく書いてありますが、それでも分からない問題が出てきた際に活用していました。過去問解説講座では問題解説に入る前に、その問題の難易度や実際に試験で同じような問題が出てきた時にどう対応するのか等も教えていただけるので、時間に余裕があれば毎回見るのが効果的だと思います。過去問の中には、解けなくても良いようないわゆる捨て問もあるので、試験対策としても有効活用できると思います。また講師の林先生の人柄が柔らかく、話も聞きやすいので、過去問が出来なくて辛い時も心の支えになる存在でした。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

宅建試験は2時間で50問であり、単純計算で1問2分程で解かなければなりません。見直しの時間を考えるともっと速く解く必要があり、初めて時間をはかって解いた時は意外と時間がなくびっくりしました。そのような中で、問題の解答力を上げてくれる択一解法テクニックは本当にタメになりました。問題を読みながら理解をするための問題文のポイントや、消去法とも捉えられるような解き方等、様々なテクニックを教えていただきました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

自分自身、不動産業界とは全く関係のない金融業界で働いているため、宅建業法についての知識がゼロの状態でのスタートでした。そのため、不動産業界で働いている方と違ってどの言葉も聞き慣れず、初めて聞くワードばかりで頭がついて行けませんでした。この宅建業法逐条ローラーインプット講座は、条文の理解を深めるために特化した講義であり、私のように全くの未経験者にとっては本当にありがたい存在でした。そもそも条文も読み慣れておらず、覚えることも多く拒否反応が出るほどでしたが、先生の丁寧な解説と細かいポイントのおかげで、自分で理解するよりも倍程のスピード感で理解を深めることができました。本当にありがとうございました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去問答練については、分野別過去問を繰り返し解いた後に、時間をはかって問題を解く練習として活用していました。分野別過去問で見たことのある問題が並んでいたのも、時間をはかって問題を解く練習には本当に良かったです。分野別過去問だけやっているのと、反復していくと問題に見慣れてしまうのですが、少し問題順が変わるだけでも、これってなんだっけとなることもあり、本当に理解ができていない問題をあぶり出すこともできました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

民法判例問題攻略講座は、私のように民法に慣れていない民法初心者にとってとても大事な講義でした。大学の専攻は商学部のため、法律とは程遠い勉強をしており、民法に対して苦手意識を持っていました。そんな中でこの講義では民法の判例問題を重点的に受講できるので、今まで理解ができていなかった部分や、誤って理解をしていた部分に分かり、とてもいい復習になりました。自分だけで問題を読んだ時の、なんでこれはこうなるのか？を解消してくれました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

総まとめ講座では、全体的な範囲の重要なポイントを絞って効率よく勉強をすることができました。テキストも薄いので、拒否反応も薄くとても入りやすいです。自分は総合講義から順番に受けてきましたが、この総まとめ講座もたまに読むことも並行して学習すると、もっと効率を上げられたのではないかと今では思います。ポイントポイントの復習にも使えますが、まだ宅建に慣れない人がポイントを押さえてざっくりとした全体感を掴むためにはもってこいのテキストだと思います。まとまった時間をとることが難しい方、宅建初心者の方、隙間時間を有効活用してテキストを読みたい方、それぞれに活用ができると思います。本当に便利で使いやすかったです。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験をとく際は、実際に試験を受ける開始時間に合わせて、なるべく周りの環境が少し騒がしい場所で受けることを意識しました。静かな図書館や自習室で行うと、実際の

試験会場で周りが騒がしかった時に集中できなくなると考え、騒がしい環境の中で問題を解くことに慣れようと思いました。また、実際に試験を受ける開始時間に合わせることで、時間配分や時計にも見慣れることができるので、試験対策としておすすめです。またまちがえた部分は全体復習と思い、ぬかりなくチェックしました。

令和6年

宅地建物取引士試験合格

アガルートで学んだことが合格に直結した

市川 和良さん

50代 会社員

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

宅建試験の受験回数：2 回目

宅建試験を目指した理由・契機

現職では、金融機関に勤めており、仕事柄不動産に関する実務が多く、自身のスキルアップとして以前から取得したいと考えておりました。

私自身も数年前にマンションを購入し、住環境が変わった際に、より不動産について興味を持ち、宅建士をとれば箔がつくのではないかと考え、宅建士取得を目指すことを決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

これまでは、自分の過去の資格試験の経験から、受験勉強をする際には、予備校に通学すること、通学する予備校に自習室があること、勉強仲間がいることが重要だと考えており、宅建試験についても受け始めた1年目や2年目は通学を重視していました。

しかしながら、アガルートのサンプルを資料請求した際に、質の高い授業や教材を提供されていると感じ、自身にはすでに勉強する習慣がついていることから、通信講座の方が自分には合っているのではないかと考え、今回受講いたしました。

合格体験記・学習上の工夫

テキストの内容は映像講義で一通り視聴を行い、強調して伝えられている部分や自分で大事だと思った部分には、必ずマーカーを引いたり、テキストの余白に自分なりに映像講義の内容を咀嚼したうえで、記述がない内容について補足を付け加えました。

また、各テキストや過去問題集にはインデックスや付箋をつける等、後で見返したときのわかりやすさを意識しました。

平日は必ず勉強時間を確保して自宅で勉強し、土日は普段と違う環境に慣れる目的もあり、朝から外出して、環境を変えたうえで勉強を行いました。さぼりたくなるような時でも、常に勉強時間を確保して、毎日必ず勉強を行うことを第一に考え、行動しました。

また試験直前期には過去問を時間配分を意識して解くようにしました。

過去問の形式に慣れるのはもちろんのこと、とにかく回数を回すことが重要だと考え過去問を解き始めましたが、初めて過去問を解いた際、かなり時間の余裕がないということに気づきました。

そこで、解く順番をまずは宅建業法→法令上の制限→税その他・免除科目→権利関係の順番で回答するように工夫し、また時間配分を科目ごとに時間を測って行うようにしたところ、回数を重ねるにつれ、自分が慣れてきたのもあり、時間内に収まるように回答することができ、点数も徐々に上がっていくのが実感できました。

こういった努力も実り、アガルートの講座のおかげで合格できたのだと思います。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

映像講義は昨年受けた際の別の試験の学習教材以来でしたが、アガルートの小林先生の講義がずっと入ってきて、スムーズに視聴することができ、映像講義については6月の段階で見終わることができました。

特に、小林先生と私が年齢が近いためか、小林先生が使う例えや比喻表現が私の年代と非常にマッチしており、とてもわかりやすかったです。

テキストもフルカラーで内容がわかりやすくまとまっており、またわからないところがあった際は映像講義に振り返って学習することができたので、独学ではあるものの復習がしやすく大変助かりました。

また、映像講義も1つ当たりの時間が短いため、通勤時間の電車や、すき間時間にも勉強できたのも私にとって良かったと思います。

総合講義の活用方法はこれだけでなく、ダウンロードして音声を聞くことができたり、デジタルのテキストもあったため、私はあまり活用しなかったものの、若い方にも利用しやすいんじゃないでしょうか。

直前期には、法改正や統計データなどの講座も大変参考になり、聞いてなかったらえらいことになっていたなと痛感しております。

ホームルームの部分も大変参考になり、私は宅建試験経験者ではあったものの、初学者向けの方にもわかりやすく説明されていたのが良かったと思います。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問にはじまり、過去問に終わると講義の中で言われましたが、まさにその通りだったと思います。

先に書かせていただいたとおり、過去問の時間配分に慣れるにあたって、ひたすら過去

問を解いていくわけですが、過去問についてわかりやすく解説されており、特に法令上の制限における建築基準法や都市計画法以外の法令から知識を完成していくやり方は目から鱗でした。

わからないところを解説講座で丁寧に説明してくださり、やはり回数を重ねたことで、自分の場合は点数が上がっていったと思います。

過去問をとにかく解いていくことで、時間配分や問題の適切な解き方がわかるようになったことで、試験に向けて私自身手ごたえをより一層感じるようになり、自信につながりました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

択一解法テクニック講座は、選択問題におけるテクニックを学ぶにあたり、大変参考になった講座です。

この講座は、宅建試験の択一問題を効率的に解くためのテクニックを学ぶ上で非常に役立ちました。

講師のわかりやすい解説と具体的な例題を通じて、実際の試験で使えるテクニックを身につけることができました。

特に、時間配分や問題の読み解き方についてのアドバイスは、実践的で役立ちました。テクニックを実際の問題で試しました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

宅建業法逐条ローラーインプット講座は、宅建業法の法令がただ書いてあるだけでなく、施行令等も記載されており、なぜこの条文があるのか、どういう経緯で施行されたのかがわかりやすく学べました。

個人的には、この宅建業法逐条ローラーインプット講座のおかげで、私自身の宅建業法の理解がかなり深まったと考えています。

普段仕事などで法律の条文をただ目の当たりにすると、法律の背景やその施行についてはあまり深く考えなかったことが多かったのですが、より深く学習するにあたって、大変助かりました。

今後宅建業法以外の法令の勉強にも役立てられる内容だなと感じました。宅建業法について深い理解を得られるため、この講座は個人的に一番満足感が高かったです。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去問答練についても、過去問解説講座と内容が重複する部分がありますが、過去問の時間配分や、どの問題から解いていくか、自分なりの過去問の攻略法を考えるにあたり、非常に有効な講座でした。

とりあえず過去問答練の問題集を繰り返し解きました。問題を解いた後は必ず解説を読み、理解を深めるよう努めました。

講師の説明を聞くことで、より深い理解が得られました。

また、問題を解いて間違えた箇所や曖昧な部分をノートにまとめ、復習を行いました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

民法判例問題攻略講座は、民法の判例問題を解くための実践的なテクニックと深い知識を提供してくれました。

講師の説明が非常にわかりやすく、判例の背景や重要なポイントを具体的に解説してくれるため、難解な判例もスムーズに理解できました。

特に、実際の試験で出題される傾向を押さえた内容は非常に役立ちました。解説が丁寧で、判例の趣旨や適用法を明確に理解することができ、自信を持って試験に臨むことができました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

アガルートアカデミーの宅建試験総まとめ講座を受講した感想についてお話しします。この講座は、学習の最終段階で非常に有益でした。

まず、全体的な講義の構成が素晴らしかったです。ポイントを押さえた解説が短時間で効率的に学習できるよう工夫されていました。特に重要な部分は繰り返し説明されるため、記憶に残りやすかったです。

また、講師の方々の説明がとても分かりやすく、難解な法律用語や概念もすぐに理解できました。実際の試験問題に近い問題を使った解説も多く、本番を意識した学習ができました。

加えて、講座の進行がスムーズで、受講生一人ひとりのペースに合わせて進められる点が良かったです。自分の理解度に応じて学習を進められるので、効率的に弱点を克服することができました。

総まとめ講座は、試験直前の自信を大いに高めてくれました。特に、模擬試験の解説は非常に役立ちました。実際の試験でも、総まとめ講座で学んだことがそのまま役立ち、合格に直結しました。

全体を通じて、アガルートアカデミーの宅建試験総まとめ講座は、試験準備の最終段階で必須の講座だと感じました。質の高い教材と講師陣のおかげで、短期間で実力を最大限に引き出すことができました。試験を目指す方には、是非この講座を受講することを強くおすすめします。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験については、私は三回回すようにしておりました。

1回目、2回目は点数が40点を下回ったため大変不安でした。

しかし、3回目に解いてみたところ、点数が40点を超え、自分の自信につながっただけでなく、実際に本試験でも模擬試験で出た問題がでたため、自分の中で小さく心の中でガッツポーズしました。

直前に解きましたが、これのおかげで点数が5～10点程度アップしました。模擬試験

があったおかげで、試験に合格できたと強く感じます。

本試験の点数

【権利関係】 10点

【法令上の制限】 4点

【税その他】 2点

【宅建業法】 20点

【免除科目】 5点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

効率的かつアウトプット重視の学習で自信をつけた

石村 拓己さん

20代 学生

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：6か月

宅建試験の受験回数：1回目

宅建試験を目指した理由・契機

宅建試験を目指した理由として、デベロッパーの仕事でより専門性を高めたいという思いがありました。自分は今大学3年生で就職活動をしており、デベロッパー業界を見ています。都市開発や再開発プロジェクトに携わる中で、宅地建物取引に関する知識が不可欠であり、プロジェクトをスムーズに進めるためには法的な理解が重要だと感じています。特に、土地取引や権利関係のスキルを持つことは、より高いレベルでの企画・調整能力につながると考えています。また、デベロッパーとして「街づくり」の責任を担う以上、宅建士としての資格を取得することで、自分自身の提案に説得力を持たせると同時に、周囲の信頼をより得られると感じたことも、挑戦の理由の一つです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートを選んだ理由は、宅建試験に特化した効率的な学習カリキュラムと高い合格実績に魅力を感じたからです。社会人としての業務や日常生活の中で時間に制約がある中、短期間で要点を押さえた学習が可能な環境が必要でした。アガルートの教材や講義は、実務に直結する知識を効率よく習得できるよう設計されており、特に重要ポイントに焦点を当てた解説が自分に合っていると感じました。

合格体験記・学習上の工夫

予備校を活用して合格を目指す上で、工夫したのは「効率的な学習計画」と「アウトプッ

ト重視の学習方法」の2点です。まず、予備校のカリキュラムに沿って学習のスケジュールを細かく設定しました。特に、アガルートの動画講義を活用し、毎日の視聴時間を決めることで習慣化を図りました。また、過去問を繰り返し解き、重要な論点を徹底的に分析することで、出題傾向を把握しました。特に間違えた問題は丁寧に復習し、自分の弱点を洗い出して克服することを意識しました。ただ、自分で市販で買った参考書も同時並行で進めていました。

さらに、アウトプットの比率を高めるために、問題演習を日々の学習に組み込みました。インプットだけで終わらず、問題を解くことで知識を定着させるよう心掛けました。また、スキマ時間も有効活用し、通勤中や休憩時にはアガルートのテキストをスマホで見返すことで、学習の頻度を高めました。

最後に、宅建試験特有の法的知識を実務に結びつけて考えることで、記憶の定着を図り、試験問題への応用力を高めました。このように教材をフル活用しながら、自分の生活スタイルに合わせた工夫を行い、効率よく学習を進めることが合格への鍵でした。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

アガルートの宅建講義は非常に分かりやすく、効率的な学習を進める上で大きな助けとなりました。講義では、難解な法律や用語も具体例を交えて説明してくれるため、実務を想定しながら理解を深められました。特に、重要な論点や頻出問題に絞った講義構成が魅力的で、必要な知識を効率よく学べた点が印象的です。また、試験で狙われやすいポイントを「ここが試験に出る!」と明確に示してくれるので、学習の優先順位をつけやすく、計画的に進めることができました。

講師の女性の先生も非常にわかりやすかったです。

さらに、動画形式の講義はスマートフォンやタブレットで視聴でき、通勤時間やちょっとした隙間時間にも活用できたのが非常に便利でした。自分のペースで再生速度を調整したり、重要な部分を繰り返し視聴したりすることで、内容をしっかりと定着させることができました。

講師の方々の説明も親しみやすく、受講者の目線に立った解説が印象的でした。特に、複雑な権利関係や取引事例について、図解や具体的な状況を用いながら丁寧に解説してくれるため、法律が身近なものとして理解できるようになりました。この講義のおかげで、効率的に知識を習得し、合格に必要な自信を持つことができました。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

アガルートの過去問解説講座は、宅建試験対策において非常に役立ちました。解説がシンプルかつ的確で、単なる答え合わせにとどまらず、出題意図や解き方のポイントが丁寧に説明されているため、問題を解きながら重要論点を復習することができました。特に「なぜこの選択肢が正しい（または間違っている）のか」を深掘りしてくれるため、表面的な理解にとどまらず、応用力を養うことができたと感じています。

利用方法としては、まず一度自分で過去問を解き、その後過去問解説講座を視聴して答

え合わせを行いました。間違えた問題や迷った選択肢については、講義を繰り返し視聴し、ノートに要点を書き出すことで記憶の定着を図りました。また、特に間違えやすい箇所については、解説動画を視聴後に再度同じ問題を解くことで、確実に克服するよう努めました。

過去問解説講座を通じて過去問の出題傾向や試験の狙いを把握できたことは、直前期の総復習にも大いに役立ちました。この講座があったからこそ、効率的に弱点を補強し、自信を持って試験に臨むことができました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

アガルトの択一解法テクニック講座は、短時間で効率よく問題を解く力を養うのに非常に役立ちました。この講座では、選択肢の切り捨て方や迷ったときの判断基準など、実際の試験で使える具体的なテクニックを学ぶことができました。特に、法律用語や文章のクセから正答を導く方法や、出題パターンを見極めるポイントが実践的で、試験本番でも大いに活用できました。

利用方法としては、まずテクニックを学んだ後、過去問演習を通じて実践的に使う練習を重ねました。また、講義中の解説で紹介された思考のプロセスを自分の中で再現できるよう、繰り返し復習しました。この講座のおかげで、苦手分野でも時間をかけずに正答に近づく自信を持つことができました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

宅建業法逐条ローラーインプット講座は、法律の条文を体系的に学べる点が非常に有益でした。この講座では、条文ごとに重要なポイントを具体例や実務に基づいて解説してくれるため、宅建業法の全体像を理解しながら、出題頻度の高い内容を効率よくインプットできました。特に、条文の意味や趣旨だけでなく、試験で問われやすい細かい論点や引っ掛けパターンについても触れてくれるため、知識の幅が広がりました。

利用方法としては、まず1回目は講義を視聴しながら条文を読み進め、重要ポイントをメモして理解を深めました。その後、過去問を解く際に講義で学んだ内容を意識しながら実践に活用しました。また、直前期には繰り返し講義を視聴することで、知識を定着させるとともに曖昧だった部分を再確認しました。

この講座のおかげで、複雑に感じていた宅建業法の条文が整理され、どの知識が試験に直結するのかを明確に把握することができました。宅建試験の中心となる業法を効率よく攻略できたことは、合格の大きな助けになりました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

アガルトの過去問答練は、試験本番を意識した実践的なトレーニングとして非常に有益でした。この講座では、過去問演習を通じて試験の出題傾向や自分の弱点を把握できるだけでなく、詳細な解説で理解を深めることができました。特に、問題ごとの難易度や出題意図が解説されているため、単なる答え合わせにとどまらず、効率的に知識を補強でき

ました。

利用方法としては、まず模試感覚で時間を計りながら答練を解き、その後解説を視聴して正解・不正解の理由を徹底的に分析しました。間違えた問題はノートに書き出し、なぜ間違えたのかを振り返りながら、同じミスを繰り返さないようにしました。また、解説で紹介されたポイントや解法テクニックを活かし、次の演習に取り入れることでスキルを磨きました。

過去問答練を繰り返し活用することで、本番さながらの緊張感を持ちながら弱点克服に取り組み、試験当日にも落ち着いて臨むことができました。この実践的な学習が合格への大きな助けとなりました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

アガルートの民法判例問題攻略講座は、判例問題への理解と対応力を高めるために非常に役立ちました。この講座では、重要判例をテーマごとに解説してくれるため、試験で問われやすい判例知識を効率的に学べました。特に、判例の趣旨やその背景にある法的な考え方が詳しく説明されており、単なる暗記ではなく、深い理解を伴った学習ができた点が印象的です。また、過去問に出た判例をどのように活用すべきかや、引っ掛け選択肢の攻略方法も具体的に教えてくれたため、応用力も身につきました。

利用方法としては、まず講義を視聴しながら判例ごとの重要ポイントをメモし、その後、過去問や演習問題を解いて知識を実践に活かしました。また、迷いやすい判例については、講義を繰り返し視聴して理解を深めました。判例の意図や試験での狙いをしっかり掴むことができたおかげで、本番でも自信を持って解答できました。この講座は判例対策に特化した内容で、宅建試験の得点力を確実に高めることができました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

アガルートの総まとめ講座は、試験直前期の総復習に最適な内容で、効率的に知識を整理する大きな助けとなりました。この講座では、試験頻出の論点が厳選されており、出題可能性の高いポイントだけに集中して学べるため、学習範囲を絞り込むことができました。また、重要項目を講師が簡潔に解説してくれるので、短時間で効率的に復習が進み、知識の最終確認に非常に役立ちました。

利用方法としては、直前期にまず過去問を解き、理解が不十分な分野をリストアップした上で講座を視聴しました。講義を聞きながら弱点を補強し、重要なポイントについてはノートに再度整理することで、試験直前まで何度も見返せる形にしました。また、特に間違いやすい論点については繰り返し講義を視聴し、知識を確実に定着させました。

この総まとめ講座のおかげで、広範囲にわたる試験内容を効率的に再確認でき、直前期でも焦ることなく自信を持って準備を整えることができました。時間を最大限に活用し、得点力を高めるための強力なサポートとなった講座でした。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルートの模擬試験は、試験本番に向けた最適な練習の場でした。実際の試験形式に則った問題構成で、時間配分や解答のペース配分を意識しながら解くことができ、試験本番の雰囲気をリアルに体験できました。解説が非常に詳しく、間違えた問題についてはなぜその選択肢が正解で、他の選択肢が不正解なのかをしっかりと解説してくれるので、理解が深まりました。

利用方法としては、まず模擬試験を時間通りに解き、終了後に解説を確認。間違えた問題は再度復習し、理解が不十分な部分を明確にしました。その後、繰り返し同じ問題を解くことで、問題の傾向を把握し、弱点を克服しました。この模擬試験を定期的を実施することで、本番に向けての実力を高め、試験当日も落ち着いて臨むことができました。

令和6年

宅地建物取引士試験合格

テキストやTOKERUKUNを最大限活用

永吉 慶大さん

30代 会社員

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：5か月

宅建試験の受験回数：1回目

宅建試験を目指した理由・契機

業務において法律に触れる機会が多く、民法の基礎を学べる資格として、宅建に興味を持ちました。また、不動産業界と業務で接する機会も多く、業界自体に興味を持っていたため、理解を深めるために受験を決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

オンラインで受講ができることが大きかったです。また、価格の安さも魅力的でした。受講講座を探す中で、合格者の体験談として通勤の電車の中でオンラインで問題を解くことができたという記載もあり、自身にもピッタリだと思いアガルートアカデミーを選びました。

合格体験記・学習上の工夫

1. 過去問とTOKERUKUNの活用

講座の中でも言われている、過去問を繰り返し解くことを徹底しました。

基本的にはオンラインのTOKERUKUNを使っていました。

①単元講座受講前、②単元受講直後、③全体の講座受講後、④③で間違えた部分、⑤③で間違えた部分を再度

最後試験前に仕上げとして、過去問集の冊子を解きました。

苦手分野が明確になることと、忘れた部分の思い返しの両方を意識し、問題を解くタイミングを設定しました。

2. 総まとめ講座の活用

総まとめ講座の教材が非常によくまとまっており活用しました。

小林先生もおっしゃっていた、自分でノートを作る必要はない。テキストに書き込んで見直す。というアドバイスを受け、どこに書き込むか悩んでいましたが、小林先生の講座受講完了後に総まとめ講座の教材を発見。過去問の間違った箇所を探し出し、総まとめ講座の教材に書き込んだり、ラインマークを引いたりしました。試験前にも当該教材を見返す事ができ、大変有用なテキストでした。

3. 暗記

暗記については、ネット上で暗記のための歌などを探し、総まとめ講座の教材書き込んで繰り返し見ることで覚えました。これは、最後模擬試験や市販の想定問題集をやった際に、点数のブレが大きく、暗記科目を網羅することで補正できると考えたからです。ただ、最後の2週間～1か月くらいになるので、基本的にはアガルトの教材のみで5か月間の勉強は進めました。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

1. オンライン受講の良さ

初めて触れる部分も多く、また民法等解釈が難しいところも多かったですが、講座が単元毎に分かれている事。また、単元内でも講座が分かれており、時間を見つけて勉強するには非常にやりやすい構成になっていました。

また、過去問でわからない部分などを繰り返し視聴できる点、再生速度も早めて効率的に受講できる点も非常に使い勝手が良かったです。

2. 出題分野がコンパクトにまとめられている

受験前の1か月は問題を解いて理解を深め、苦手分野を潰すということで、書店で問題集を購入して解きました。その際、アガルトで触れられていない部分があり非常に焦りましたが、結果的には頻出分野ではなく、アガルトが効率的に分野を絞って作ってくれていたことを、本試験を通じて実感しました。問題を解くのは重要ですが、勉強範囲についてはアガルトを信じて良いなといまさらながら考えています。

3. 覚え方の的確な指導

建築基準法等は細かい暗記があり、苦戦しました。ただ、小林先生が覚えやすい方法や、単元の最後に比較表などでポイントをまとめてくださるので、その部分を繰り返し見、手元のテキストに写して見直すなどして暗記することができました。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問解説講座は、過去問を解いて間違えた部分やわからない部分について、解説を拝見する使い方でした。

問題全てを解説いただいているわけではないので、重要度Cの問題を間違えたケースなどでは、解説がなく理解に苦戦する時もありました。

その際は自らインターネットで調べることで解決しました。

今となっては、相当ニッチな分野だったという事だとは思いますが、要点を絞っていただいているのだと理解しています。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

過去の選択肢の傾向や問題の言葉尻による○×の判断方法という、正にテクニックについて解説いただいている講座で、視聴したのは一回だけでしたが、非常に印象に残る講座でした。

これは、本試験での民法を解くのに非常に役立ちました。

本試験の民法は、かなり幅広い範囲から出題され、自分の経験や常識に当てはめて判断が必要な問題も多くありました。正直相当動揺しましたが、その際、選択肢を消していくときの考え方として、本講座のテクニックは大変役立ちました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

宅建業法部分は比較的過去問の点数が取れていたため、学習内容は暗記分野に絞ることにしました。そのため、宅建業法逐条ローラーインプット講座については、時間の都合もあり、全ての講座受講は見送りました。

ただ、法律上どのような形態で書かれているかについては目を通しました。

また、講座の冒頭で先生がおっしゃっていたように、宅建業法は合格のために高い得点が必要になるため、時間がある方、宅建業法分野で点数を安定させたい方は、宅建業法逐条ローラーインプット講座で法律の原文を学び、理解を深めるために受講されることをお勧めいたします。

苦手分野を効率的に潰しこむ手段として、アガルートに多く用意いただいていたコンテンツの一つと理解しています。

過去問答練のご感想・ご利用方法

小林先生から講座内で繰り返しアドバイスがあったこともあり、過去問を中心に勉強を組み立てました。

また、TOKERUKUNは過去自分が間違えた問題や、重要と思ってチェックした問題を抽出することができたため、とても効率的に学習を進めることができました。アガルートを選んでよかったと強く感じたポイントの一つでした。

①単元講座受講前、②単元受講直後、③全体の講座受講後、④③で間違えた部分、⑤③で間違えた部分を再度 と少なくとも5回TOKERUKUNを使い、最後試験前に仕上げとして、過去問集の冊子を解きました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

総まとめ講座の教材が非常によくまとまっており中盤～終盤にかけて大変活用しました。

小林先生もおっしゃっていた、自分でノートを作る必要はない。テキストに書き込んで試験直前にも見直す。というアドバイスを受け、どこに書き込むか悩んでいましたが、小林先生の講座受講完了後に総まとめ講座に移ったところ、テキスト教材を発見。過去問の間違った箇所を探し出し、総まとめ講座の教材に書き込んだり、ラインマークを引いたりしました。試験前にも当該教材を見返す事ができ、大変有用なテキストでした。

基本的に全ての分野の重点領域が網羅されており、試験前も総まとめ講座のテキストを見直して試験に臨みました。

正直、もっと序盤に本テキストを発見すべきでした…

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験はテストの2～3週間前に受けました。

過去問は繰り返し解いていたので高得点だったのですが、初めて見る問題への対応力が欠けている＝理解が深まり切っていない事に気づかされるととても良い機会でした。また、問題の記載方法なども本番と同じこと、トイレや飲み物を飲むタイミング等、宅建以外の試験にも通じるアドバイスがあり、有用な講座でした。

本試験の点数

【権利関係】11点

【法令上の制限】5点

【税その他】1点

【宅建業法】17点

【免除科目】5点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

子育てや仕事と両立しながら知識ゼロから合格へ

本郷 みのりさん

30代

主夫/主婦

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：11 か月

宅建試験の受験回数：1 回目

宅建試験を目指した理由・契機

元々家の間取りを見たり物件を探すのは好きだったので、不動産業界に興味がありました。去年はマイホームを建てるためYouTubeでさまざまな動画を見ていたのですが、ただ動画を見ているだけでは時間が勿体無い気がして、せっかくなら宅建を取ってみようと思ったことがきっかけです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

無料体験の講座を視聴してみて講師の説明がとても分かりやすかったので、受講しようと思いました。また、テキストの情報量も他社よりコンパクトにまとめられていながら、重要な点がしっかり網羅されていることも決め手になりました。

合格体験記・学習上の工夫

勉強は民法も不動産のことも何一つ知らない状態からのスタートでした。また、仕事をしつつ、1歳と3歳の子供の育児をしながら勉強時間を捻出していたので、時間配分が読めず、とにかく早く勉強をスタートさせようと思いました。

宅建の勉強をしてみようかな？と思った時はちょうど11月の上旬で、令和5年度宅建試験が終わったばかりの時期だったのですが、「子供もいつ保育園を休んで勉強や仕事が滞るかわからないし…」と思い、11月上旬から勉強を開始しました。11月～2月までに権利関係、宅建業法を一通り終え、法令上の制限と税その他のテキストが届く4月下旬までは

権利関係と宅建業法の過去問を5周程終わらせました。

その後4月下旬～7月下旬までに法令上の制限と税その他の勉強を終わらせ、10月頭まではひたすら過去問を解き、トータル20周以上周回したと思います。

自分のペースでじっくり勉強できました。1日最低30分～1時間は勉強時間にしようと決めて取り組み、試験までこの勉強ペースを崩さずに本番を迎えることができました。

子供の体調不良などもほとんどなく、順調に勉強が進められたこともあり、夏以降は想定していたより多く過去問を解く時間を捻出できたのが良かったですし、合格につながったのかなとも思います。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

予備知識もなく、本当にゼロからの状態で勉強を始めたのですが、とにかく分かりやすく、楽しく学ぶことができました。

私は権利関係から学び始めたのですが、小林先生は大変わかりやすく、所々ユーモアを交えての講義は最後まで飽きずに視聴することができました。

権利関係は難解な言葉も多く、内容を理解するのに時間がかかりましたが勉強が楽しい、と思えるような講義内容だったので途中で挫折することなく続けることができました。

一通り勉強を終えた後は子供の送迎の車の中でダウンロードした講義の中で苦手な分野を何度も聞いていました。

「権利関係は深入りしないほうが良い」「権利関係より業法を隅から隅までやりなさい」と講師の先生が皆おっしゃっていましたが、私の場合勉強のスケジュールに若干の余裕ができたことで権利関係もじっくり学ぶことができ、試験当日は14点中12点を獲得できました。

毎月のホームルームも事前に質問できる機会を設けてくださり、大いに活用させていただきました。ホームルームの内容も勉強の進め方などを的確にお話ししてくだだったので、自分の勉強方法に不安を感じても自信を持って取り組むことができました。

講師に直接質問できる制度も素晴らしく、回答も早かったのでとてもありがたかったです。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

勉強を始めた当初は、過去問の解説を見ても自分がどうして間違えたのかわからない問題も多々ありましたが、動画を通してわかりやすく解説してくださっていることで、一つ一つの問題を納得しながら理解することができました。

解説を見ただけではなかなか頭に入らず、同じ間違いを繰り返してしまうことも多かったのですが、やはり動画をきちんと見て理解を深められると繰り返し間違えることが少ないように感じました。

また、初めに講義を視聴→過去問→過去問解説動画を視聴という形式で、繰り返し学ぶことで、記憶がしっかりと定着することを実感しました。講師の先生方が仰っていたように、講義を聞いたらすぐに帰って過去問をとくようにすることはとても大切だと思います。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

正直、この講座は私にはあまり必要なさそうかな？と思っていましたが、試験前に視聴してみると勉強とは違った角度からのアドバイスも多々あり、講座を聞いて良かったと心から思いました。

選択肢を迷ったとき、どの選択肢もわからないと思ったときの対処方法など、「なるほど」と思うことも多く、こういったアドバイスを受けられるのもアガルートならではの良さなのかなと感じました。講師の工藤先生も、丁寧で受講者に寄り添った講義をしてくださりありがとうございました。

宅建業法逐条ローラインプット講座のご感想・ご利用方法

夏木先生の実体験などを時折交えてお話ししてくださり、堅苦しい法律用語で一見難しいと思う内容でも、とても興味深く楽しく学ぶことができました。

また、ABCの段階別で重要度が分かっていたので、確実に覚えたほうが良いところが明確に示されていたことも良かったです。巻末に添付してあった実際の書類も、自分で書き込んでみることでより理解を深めることができたように感じます。私を含め不動産業界での経験は全くない人にはとても効果的な方法だと思いました。こういったことも含めて、テキスト以外のものを通して学びを深められたことは独学では決してできなかったことで、すし、アガルートの宅建試験講座に申し込んで良かったと感じました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

権利関係、宅建業法、法令上の制限、税その他全て20周以上は周回し、過去問で知識と理解を深めました。

テキストで知識をインプットした後すぐに過去問を解き、1周しました。一通りの知識のインプットが終わった後、2周目以降は間違えた問題にチェックや付箋をつけるとともに重要な部分にマーカーを引き、チェックした問題を中心に繰り返し解きなおしました。ある程度周回した後は再び全ての問題を解くようにしました。

途中でTOKERUKUNサービスができたのでスマホやタブレットからの利用もしやすくなり、とても良かったです。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

理解しづらい言葉が羅列されている民法の判例問題を徹底して学習できる機会が設けられていることは、試験対策上とても安心感がありました。

この講座に取り組む頃には過去問10周以上周回し、模試もアガルートと他社で何回か経験していたので知識の確認として当講座を利用させていただき、ほとんどの問題をスムーズに解くことができました。

動画では、キーワードとなる言葉や選択肢と照らし合わせて内容をわかりやすく講義してくださり、大変有益でした。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

知識の総まとめとして、特に重要なことがコンパクトにまとめられていてとても良かったです。左側の丸バツ問題で知識をすぐに確認できる点も役立ちました。林先生の講義も、わかりやすい例えとインパクトのある表現で記憶に残りやすく、知識の定着、復習にはぴったりでした。また、総まとめ講座の動画を通して自分の知識不足を改めて感じる部分もあったので、私にとってはとても重要な講座だったと改めて感じました。足りない部分は補足でテキストに書き込みもし、試験直前まで大活躍でした。

模擬試験のご感想・ご利用方法

9月中旬ごろに模試を受けました。他社の模試と比べて難易度も難しすぎず、簡単すぎずでちょうど良いと感じました。模試は試験直前まで5回周回し、過去問と同様に間違える問題がなくなるまで解き続けました。ただ、どの程度知識が深まっているかどうか模試1回だけですと不安でしたので、他社の模試も書店で購入し、アガルートの模試と合わせて試験直前に繰り返し解いて過去問以外の問題にも対応できるように取り組みました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

どの講師の方々も個性豊かでそれぞれ違った良さがあり、講座ごとに楽しんで学習できました。

本試験の点数

【権利関係】12点

【法令上の制限】8点

【税その他】1点

【宅建業法】16点

【免除科目】4点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

就職に備えて知識ゼロから宅建試験に挑戦

山下 凌弥さん

20代

学生

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：6か月

宅建試験の受験回数：1回目

宅建試験を目指した理由・契機

就職先が不動産関係の会社なので、宅建の資格を持っていると有利だと考えたため。また会社に入って働きながら宅建の勉強をするのは大変だと考えたため、時間に余裕のある学生の内に宅建の資格を取得しておこうと考えた。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

宅建の通信講座を受講しようと考えていた際に、様々な会社の口コミなどを読み、その中で一番良かったため。また価格帯も比較的安く、もし宅建に合格すれば合格特典もあるので金銭的にも良いと考えたためアガルートアカデミーに決めた。

合格体験記・学習上の工夫

現在学生であり、実務経験や不動産に関する知識もゼロから始めたので、とにかく講師の言うことを信じて、講師に言われたことを講師に言われた通りにやることを心がけた。宅建試験はほとんどが暗記していれば解ける問題なので、毎日少しずつ勉強する、何度も何度も同じ箇所を復習する、声を出しながら覚える、数字関係のところはゴロを使って覚える、など少しでも頭の中に定着する様に心掛けていた。講師の方がアガルート以外にも様々な会社が参考書などを出しており、それらに手を出したくなる気持ちもわかるが、あまりいろんな教材に手を出すのではなくアガルートが提供した教材をとにかく何度も復習した方が良いとおっしゃっていたので、提供された教材をおそらく7周くらいはしたと思

う。宅建の基本は暗記だが、意味も分からずにただただ語句を暗記するというやり方だとすぐに忘れてしまうので、しっかりと意味を理解して、どういう制度なのか、何のための制度なのか、誰のための制度なのか、などを理解して覚えるように心がけていた。宅建試験の試験範囲の中には重要度の高い毎年試験に出ている問題もあれば、あまり試験に出ないような問題もあるので、まずは重要度の高い箇所から覚えていくように心がけていた。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

現在学生であり、実務経験や不動産に関する知識もゼロから始めたが、講師の方が誰でもわかるようにゼロから教えてくださったので、とても分かりやすかった。またわからないところは質問することができ、回答もすぐに返ってくるので助かった。講師の方が宅建に関する真面目な話もしつつ、時折、面白い話も混ぜてお話ししてくれていたのも、クスッと笑いながらあまり苦にならずに受講を進めることが出来た。講師の方がこの分野は毎年出ているからとても大事だよ、この分野はめったに出ないから後回しにして大丈夫、などと分野ごとに重要度の大きさを教えてくれたので、どの分野に一番勉強量を割いたらいいのか分かりやすかった。アガルトの動画は基本的に倍速してみることが出来るので、1回目に入門総合講義を見るときは通常で受講していたが、復習する際に2回目に動画を見るときは2倍速で見るなど、効率よく受講することが出来たので良かったと思う。講師の方が、あまりノートなどは作らず、提供された教材に線を引くなり、書き込むなりして覚えた方がいいよとおっしゃっており、その通りにやっていたら頭に定着していたので、このやり方が自分に合っていたのだと感じた。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

講師の方が言っていたように、まずは何も見ずにゼロの知識のまま過去問をさっと見る。その次に入門総合講義をみて、基礎的な知識や流れをつかんでから、実際に過去問を解いてみる。その次に過去問解説講座を見て分からなかったところを復習するというような順序で受講していた。過去問解説講座では問題の解説だけではなく、実際の試験で役立つような様々なアドバイスを頂けるので、とても助かった。宅建は過去問を解くことが何よりも重要だという事を、講師の方が何度もおっしゃっていたので、過去問を解く、そして過去問解説講座を受講することを何度も繰り返し、最終的には提供された過去問をほぼすべて解けるくらいの状態にしてから、本番の試験に臨んだ。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

宅建試験は4肢から1つの正解を選ぶ形式の試験なので、最終的に2択まで絞れて、そこで迷うことが多々あったが、その際に正解の選び方や迷ったときの対処法など教えてくれたので、とても良かった。択一解法テクニック講座はそこまで講義の時間が長くなく、試験で使える事だけを講義で教えてくれていたので、効率よく勉強できたと思う。択一解法テクニック講座で言われたことを本番の試験でも活用したので、この講座を受けていてよかったと思った。

宅建業法逐条ローライン putt 講座のご感想・ご利用方法

まずは入門総合講義や過去問などを1周してから、復習という形で宅建業法逐条ローライン putt 講座を受講していた。テキスト自体が比較的簡潔にまとめられており、試験範囲のすべてをさっと復習することが出来たのでとても良かったと思う。私の場合は宅建業法逐条ローライン putt 講座を受ける前に入門総合講義や過去問などを1周しており、ある程度はすべての範囲を理解していたので、宅建業法逐条ローライン putt 講座を受ける際は一回目から倍速で動画を見るようにし、効率よく勉強していた。宅建業法逐条ローライン putt 講座を受講することで、個々の分野のつながりを意識しながら勉強することが出来たので、全体的な試験範囲の理解につながったと思う。

過去問答練のご感想・ご利用方法

普通の過去問集では分野別に問題がまとめられているが、過去問答練ではいろんな分野を混ぜて出してくれていたのが、より本番に近い形で過去問を解けたのは良かったと思う。また普通の過去問集では、ずっと同じ分野なので、ある程度最初の年度の問題を解いていると、最後の方の年度は同じ問題でもう覚えてしまっているのがあまり頭に定着しづらいが、過去問答練では分野を混ぜて問題を出してくれているので、知識が定着しやすいと感じた。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

民法の判例問題は問題文が長く、最初は判例問題に対して苦手意識があったが、民法判例問題攻略講座を受講し、何度も判例問題を解き慣れることで苦手意識を払拭することが出来た。判例問題は問題文に答えがあり、判例文の読み方、注意すべきポイントなどをわかりやすく教えてくださったので、本番でも問題なく解くことが出来た。判例問題は問題文が長いので、何度も問題を解き、判例問題になれることが大事だと思ったので5周くらい同じ問題を解いた。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

権利関係から税・その他まで宅建試験の試験範囲をほぼすべて網羅しており、重要な箇所だけを掲載してくれていたのが、試験範囲全体の復習にも役に立ったし、試験直前にも総まとめ講座のテキストを読み返すことが出来たのでとても役に立った。私の場合、総まとめ講座を受講する前に入門総合講義や過去問などで基礎的な知識は固めていたので、総まとめ講座を1周した後は、自分の覚えていなかったところだけをマーカーしておき、そこだけを2周目から解くようにしていた。総まとめ講座のテキストは比較的少ないページに重要なことをまとめてくれているので、試験直前にこのテキストを見返せるように、自分のわからないことを総まとめ講座のテキストに書き込んでおくといいと思う。

模擬試験のご感想・ご利用方法

利用方法としては、2時間きっちりと時間を計り、本番と同じような形式で問題を解いた。問題を解いた後は、間違えた箇所のみを復習するなり、解説動画を見るなりしていた。

この模擬試験に関しては、他の講座に比べて、そこまで何周も復習して見直すという事はしなかった。模擬試験などを受けずに、いきなり本番で2時間の試験を受けるのは体力的にしんどいので、少なくとも1度は模擬試験で時間をきっちりと計って問題を解いておくと思う。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

全体的に講義が分かりやすかったです。

ありがとうございました。

令和6年

宅地建物取引士試験合格

隙間時間を有効活用して育児と両立しながら合格

山中 綾子さん

40代

アルバイト

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：4か月

宅建試験の受験回数：3回目

宅建試験を目指した理由・契機

主人が20年前に取得していたのもあって興味はありました。5年前頃から自営になり1人でお仕事している姿を見ていて私も何か手伝う事ができればいいなと思い受験しました。4年前も受験した事はあったのですが独学で2年前もアガルートでお世話になり受けたのですが29点。でも諦めたくなくもう一度頑張ってみようと思いました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

これも主人のおすすめで私もウサギとカメのインパクトのキャラクターで面白そうという最初はイメージでした。以前も使わせていただいた時も分かりやすかったので覚えていた内容もあるのではと今回も受講させていただきました。

合格体験記・学習上の工夫

以前も勉強した事があるから大丈夫と思い2月頃から独学でスタートしていましたが、宅建業法以外何だかやっぱり理解度が足りず、分かったつもりではと心配になり6月にアガルートを受講しました。スタートした時は妊娠中だった事もあり眠くて眠くて夜はすぐ寝てしまうので勉強時間は上の子供達が学校から帰ってくるまでの間でした。平日は4時間くらいを休憩しながら土日も4時間くらいを隙間時間に携帯で見ながら解いていました。土日の方が勉強時間を作るのが大変だった気がします。それでも6月に無事に赤ちゃんが生まれてからはまだ寝てばかりいてくれるこの時期でないととれるような気がしなかった

ので今年こそはと頑張る事が出来ました。以前はなかったと思うのですが、携帯で見る事が出来るようになっていたりして少しの時間でも問題を見る事が出来るようになっていたので隙間時間できたらずっと見ていました。直前期はホームルーム見て皆さんはどのように過ごされているのかなあーとモチベーションを上げていました。今回はきちんと理解しながら勉強しようと思いながら勉強を進めていました。テキスト→過去問、先生方のお話されていた事を真似しながらやってみました。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

おとしにもアガルトにお世話になっていたの、で、だいたい一緒かなあーと思っていましたが、さらにパワーアップしていて分かりやすく使いやすくなっていたように感じました。まず携帯でテキストを見られたりオンラインで過去問をといて解説も見られたりと、なかなかゆったり時間が取れない人でも取り組みやすかったです。先生方も変わってなくて親しみやすかったです。内容がずっと入ってくる話し方が分かりやすかったです。新しく杉田先生が加わっていたのも新鮮でした。ノートは作らず、テキストなどに書き込むなども真似しながらやってみたら見直しがやりやすかったです。過去問をやり込む事というのも本当にそうだなあーと今になっても思います。質問制度も聞きやすくなって何度か使わせていただきました。先生方には大変お世話になりました。心強かったです。ありがとうございます。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

ひたすらひたすら先生方の言われていたように時間があれば何度も解いていました。宅建業法などは特にひっかかりそうな所などもこの講座で気をつけようとチェックしながら解いていました。やはり、宅建業法は過去問大事だなあーと思います。解説も分かりやすかったです。権利関係は解説を読んだだけでは何だろと思う所も林先生の解説で理解する事ができました。5回以上は回せたと思います。携帯ではそれ以上に見ていたのだから解いていました。特に35条37条は過去問で最終的には覚えていったように思います。沢山ある項目も権利、業法、法令、税と分かれていますのでその項目ごとに教科書持ち歩いてできるのもいいですね。苦手な教科書は何度も持ち歩いていました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

メモも取って「語尾」に着目する事に気をつけました。「ことがある」→だいたい○ 「ことはない」→×のパターン 「しなくて(も)よい」→×のパターンを直前に見直すノートみたいなメモ紙にメモっておきました。本当にわからない問題などが出てきた時に使えるのはありがたいですね。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

宅建業法をより詳しく説明されていて最初聞こうか正直迷いましたが一応見とこうという感じで倍速で流していました。一通り勉強し終わった後にやはり気になってきて今度はきちんと見直しました。条ごとに説明して下さっているのでテキストに戻ったりまた聞いて

たりひっきりそうなの所は直前に見直すメモみたいなのにまとめて見られるようにしていました。最後のページに申請書や本物の書式が記載されていてより分かりやすくなりました。以前学習していた時はなかった講座だったので、新鮮でした。宅建業法も過去問くり返しばかりで飽きてきそうなところですがまた違う解説で良かったとおもいます。最初見なくてもいいのかなと思っていたのが申し訳ないです。2回くらい見る事ができました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

最初はテキスト、過去問をやってだんだん知識ついてきたかもーと思った頃に使わせていただきました。通してテストみたいなのつもりで50問解いてみました。なかなか満点出ずで同じ問題も間違えたりで凹んだりをくり返ししていました。間違えた所だけをやってみたりと、かなり使わせていただきました。受験直前期はほとんど通してやっていました。満点も採れるようになった日もあり、使いやすいのとモチベーション上がりました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

とっつきにくい問題で一人で黙々とやっていたら病みそうな問題ばかりだったのですが、小林先生の面白いトークと分かりやすい説明で何とか理解する事ができました。本番もこのような問題がでてくるんだろうなあ〜とちょっと怖かったです。過去問なら解けるのに新しい問題だとチンプンカンプンで悲しい日もありました。でも、言われていた事を覚えているかとも思い、2、3回は直前期に聞いていました。本番はここまで長い判例は出なかったですが見ておいて良かったです。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

よくできているなあーと思います。9月後半からはほぼ毎日のように聞いて見ていました。左側に過去問が載っているので間違えたらテキストに戻り講義をもう一度聞く、また見直しとくり返していました。林先生の解説も分かりやすかったです。小林先生のお話でまた理解していたところそして林先生のお話でこういう事だったんだとさらに理解していくという感じでした。このテキストも持ち歩きやすいサイズなのでもう一度戻って講義を聞いていた時はメモと思って総まとめ講座の余白などに書き込みをして試験に持ち込もうと思ってひたすら書いていました。試験の前日も過去問よりは総まとめ講座を読みながら左側の過去問を解いて落ち着かせていました。さすがに緊張で試験前は聞く事はできませんでしたが。いい教材でした。

模擬試験のご感想・ご利用方法

9月後半に過去問かなと間違えて解いてしまって、本当はもう少し遅めで10月入って頃にしたかったのですが、、、やってみたら難しい〜点数35点、微妙〜かなり凹みました。ですが先生が点数は気にしないでいいって事で落ち着かせて間違えた所を見直しました。何度もしなくて良かったのかもしれませんが気にしなくて、2、3回はやりました。間違えてやってしまったもののきちんと時間も計ってやっていたので難しいあれ？あれ？と緊

張しながらできたので試験の勉強になりとても良かったです。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

今回は3度目の受験でいい加減とりたかったのでかなり頑張りました。新しく家族も増えたので、来年はまた大変になりそうで本当に今年で最後にしようと思っていました。

1人（独学）では理解する事はできないこといっぱいあったと思います。大変お世話になりました。

ありがとうございます。

本試験の点数

【権利関係】 9点

【法令上の制限】 5点

【税その他】 3点

【宅建業法】 18点

【免除科目】 5点

令和6年 宅地建物取引士試験合格

知識ゼロでも楽しく学べた

新垣 優さん

20代 学生

2024/ 宅建試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

宅建試験の受験回数：1 回目

宅建試験を目指した理由・契機

去年脳腫瘍になり、大学も休学し他の同級生との遅れを取り戻すために資格の取得を考え始めました。その中でも人気の資格かつ、勉強量に対して評価の高い宅建試験の受験を決めました。また、病気になってしまったことが自分にとって負の経験とならないように治療中でしたが、アガルートの講座申し込みを行いました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

就活に活かすためには今年の受験が必須であったため、確実に合格を狙えるところを検討していく中で、アガルートでの受験を決めました。あと、サイトに写っている講師陣の写真がカッコよくて勝手に信頼して受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

小林先生の話していた通りノート等はとらずにテキストに書き入れて勉強していました。また、インプットは時間がある時にとにかく早く終わらせるようにしました。また、今年は8月にボディビル（フィジーク）のコンテストに出場するために筋トレはもちろん減量と大学、アルバイトも同時並行で行っていたため、時間の忙しい日ややる気のない日などは、TOKERUKUNや別の宅建のアプリで問題を解き、とにかく宅建試験から離れないようにしていました。また、息抜きで映画やドラマを観たい時には不動産に関連するドラマを観ていました。特に宅建と1番関連していた「正直不動産」というドラマは面白く勉強にもなりました。さらに、最近流行っている「地面師たち」も直前期でしたががつり罪悪感なく全部観ていました。また、問題集は裁断し、スキャンしたり、デジタルブック

をスクショしてiPadのGoodnotesに読み込んで繰り返し解いていました。さらに、どこに移動するにもA 5サイズのファイルに入門総合講義のテキストを入れて持ち歩いていました。ふと気になった時にはすぐに確認できるようにしていました。直前期は模擬試験や過去問答練を連続で解いていましたが、市販の模擬試験も合わせて学習したことで、改正点にも対応できたと思います。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

とにかく小林先生の授業が面白くとてもわかりやすかったです。自分は法律の知識がゼロの状態でもとにかく難しいものだと思っていましたが、小林先生がわかりやすく噛み砕いて、実生活や体験上での例を出しながら講義されていて自分にとってはとてもハマリ楽しく講義を受けることができました。また、ところどころギャグを突っ込んだり、そもそも講義時間が長くないので、集中力を途切れることなくチャプターごとに学習できたと思います。また、復習として音声データをダウンロードして筋トレ中や有酸素運動中、通学中の車の中で流していました。特に1番助かったのは、覚えづらいところが権利関係、宅建業法、法令上の制限で出てくる中でも、図にしてまとめてくれたため、とにかくわかりやすかったです。法令上の制限の都市計画法と建築基準法は図解が多くてとても身につくのが早かったと感じています。また、民法の範囲でもとても面白く講義をしてくれて、法律がかなり好きになるまでになりました。そして、自分も塾講師のアルバイトをしていて生徒達に斉授業で教えています、小林先生の教え方を参考にしながら授業をしています。自分の生徒達の理解力もとても上がっていると感じています。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問解説講座は自分は観ることが少なかったですが、難しい問題や、イレギュラーな問題では解説文を読むだけでは理解が難しい為、林先生が図を書いてくれて関係性を説明してくれたため、とても助かりました。基本的に間違えた問題や難しい問題を視聴していただのですが、問題ごと覚えて浅く理解することなく、意味と関係性を理解することで、ここでの考え方が他の過去問や、本試験でも活かした場面があったため、当たっていた問題も視聴しておけばよかったと後悔しました。また、林先生の講義は頻出部分とそうでない部分をしっかり分けて解説してくれたので取捨選択がしやすく時間短縮になり、一つの問題で時間をかけすぎることが少なくなりました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

工藤美香先生の択一解法テクニック講座は、問題を解いていく上で必要な考え方や技法が学べました。特に、問題文を読み解き進めていく中で、誤っているもの、正しいものにはしっかり印をつけるテクニックは非常に重要で本試験でもしっかり活用させていただきました。また、それぞれの科目の中でどのような問題が出てくるのか、問題を解いていく上での考え方を身につけることができ過去問を解いている時のみならず、テキストを読む時でも活かすことができました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

この講義を視聴する前は条文よりも、テキストの説明や先生の言葉の方がわかりやすいので、「わざわざ堅苦しく、わかりにくい条文をイチイチ読む必要あるの?」と思っていましたが、テキストの説明や先生の言葉の根拠の元ネタは、条文なので、逐条を読むことが重要性としては理解していました。しかし、「条文の存在自体の重要性はわかったけど、まだ資格試験の勉強段階だから、面倒くさいし、テキストや先生の説明の結論だけ覚えればいいじゃね?」と思っていました。ですが、講義の視聴を進めていくうちに試験勉強は条文、判例、先例を情報として得る事から、法律の世界での思考力を鍛える訓練であるという考えで、「条文にこう書いている」→「それをこう解釈したから」→「こういう結論となった」という思考力を養うことができたことで、初めて触れる問題にも対応できたと感じています。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去問答練は実際の試験のような冊子から緊張感を持って解き進めることができたとともに、過去問の中でも「痒いところ」をついてくるので、間違えた問題が自分の知識不足として再確認することができたので、テキストを振り返る機会にもなり、知識の磨き上げにもなりました。また、間違えて理解しているところ、間違えて覚えているところを知るきっかけになったことで、本試験でも同じような問題が出題されても、答練で出ていたところとして処理することができました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

今年は判例が出題されることはありませんでしたが、去年以前は毎年出題されていたため、過去問でも触れる機会は多かったのですが、判例の解説は条文の理解と判例の理解は問題をとく上での思考力として大切なものであると考えていたので、今年出題されなかったとしても、思考力を養う上でとても大切であると感じました。また、小林先生だったのでとてもわかりやすく楽しく受講することができました。また、オリジナル問題も複数あって解きごたえがありました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

直前期に一気に振り返りとして視聴していましたが、総まとめ講座のテキストの中で怪しい知識を発見することができたなら入門総合講義テキストに戻ってまた読み直すということをお繰り返していました。また、直前期なので、総まとめ講座のテキストを視聴しながら自分も読み合わせすることで、自分の知識に誤りがないか確かめる作業として活用していました。また、試験日も時間があつたら統計を見て本試験に備えていました。また、倍速視聴しても問題ない速さで話してくれていたのも、効率よく活用することができました。細かい知識は入門総合講義テキストを読み、重要な部分は総まとめ講座のテキストを読むということをしてながら、直前期は過ごしていました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は最後の3週間くらいに初めて解きました。問題文でのひっかけはもちろん、過去問では存在しない問題などもたくさん出題されており、初めての点数を見た時はかなりへこみました。しかし、ここで危機感が生まれた為、解けなかった問題の知識を補完するためにテキストを読み込み問題を何周か周回するとともにその他の市販の模擬試験もとりましたが、アガルートの模擬試験が1番本試験の対策上では力がついたと思います。市販では必要のない知識も問われることが多く、別の知識を入れすぎてしまうこともあるので、その点アガルートは本試験に1番近い問題だったと考えています。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

小林先生が自分の中で1番ハマった先生でした。ありがとうございました。必要最小限の努力で最大の結果を出すことができ、本試験では44点を得点することができました。他の講師の先生方もありがとうございました。

本試験の点数

【権利関係】 11点

【法令上の制限】 6点

【税その他】 3点

【宅建業法】 19点

【免除科目】 5点

演習総合カリキュラム

アガルトアカデミー合格体験記 宅地建物取引士試験

令和6年

宅地建物取引士試験合格

効率よく根本の理解を進め応用問題にも対応できた

橋本 正和さん

30代

会社員

2024/ 宅建試験 / 演習総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：7か月

宅建試験の受験回数：3回目

宅建試験を目指した理由・契機

転職を検討し始めたことがきっかけです。

現在も不動産業に従事していますが、宅建士の資格があることで、携われる業務内容も増え、転職活動の武器になると思いました。

また、現在の職場では取り扱いのない売買の知識なども得られ、自身のスキルアップにも繋がると思い、受験することになりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

複数の資格学校に比べ合格率が高かった点が決め手です。また、宅建は問題範囲が広いということもあり、何から手を付けていいのか分からなかったため、試験に出る項目やポイントを講師が教えてくれるところに魅力を感じました。結果として、効率的に勉強するのにとても役立ちました。

合格体験記・学習上の工夫

試験のための勉強は4月頃から始めました。夏頃までは試験範囲をひと通り目を通すことを目標に、朝起きる時間を少しだけ早めて勉強時間を捻出したり、休日にまとめて学習を進めました。試験の2ヶ月前からは本腰を入れて、普段は仕事終わりのリラックスタイムとしていた時間を短縮し、勉強時間に充てました。また、通勤時間や、仕事の昼休みなどの隙間時間も活用してきました。

学習方法としては、早く始めた科目ほど長く勉強が出来ると考え、配点のウェイトの大きい宅建業法に重きを置いて勉強しました。結果として、宅建業法は18/20点を獲得することが出来ました。実際の試験でも自信のある科目から先に解くようにしました。順番に解いて、難しい問題にぶつかり試験のモチベーションを落とさないために過去問を解くときから工夫していたことのひとつです。

反対に、問題範囲が広く、出題数の少ない税・その他法令の学習は最後に回しました。限られた時間の中で効率良く学習を進めることが合格への鍵だったと感じます。

試験当日は勉強していない範囲の問題の出題があり、かなり焦りましたが、出来る問題を着実に得点することを心掛けました。合格発表の日まで、不安を抱えていましたが、無事に合格することが出来、とても嬉しかったです。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

演習総合講義は、知識をインプットするのに大いに役立ちました。独学時代は過去問を解いてもなぜ正解なのか、他の選択肢がなぜ間違いなのかが分からないまま、感覚で進んでいました。その結果、違うパターンの出題では対応することが出来ず、間違いを減らすことが困難でした。そのような中、アガルトでは問題と解答の詳しい説明があり、根本の理解が進むようになりました。

また、ひとりでテキストを読むだけではモチベーションが続かず、挫折しそうになりましたが、通信講座では講師が熱心に解説してくださることも背中を押し続けて貰える感覚になり、やる気を保ちつつ、最後まで継続することが出来ました。

受講動画は対面の講義と異なり、分からない点は人目を気にせず何度でも見直すことが出来たのも通信講座ならではの良さだと思います。

私は社会人ですので、通勤時間など仕事の隙間の時間は動画を流し、音声だけでも耳に入れるようにしていました。動画講義の内容はもちろん、このように自分のライフスタイルや勉強方法に柔軟に対応できる点も大変助かりました。

勉強方法としては、過去問でわからなかった箇所を動画で理解し、その後に同じ問題を解く勉強方法を続け、知識の定着を目指しました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

アガルトの講義では、問題の内容解説だけでなく、試験対策としての心構えやテクニックもカバーされている点が良かったです。同じ知識量でも問題慣れしてたり、解き方のコツを知っているだけでより速く解けることに気付かされました。4択を2択に絞れるだけでも正答率はかなり高まります。たった1点の差で合否が決まる世界で、少しでも高い点数を取るためには知識だけでなく、こうしたコツも駆使した結果、合格に辿り着けたと感じています。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

宅建試験全体に言えることですが、表現が難解で勉強を始めた最初のうちは文章を読ん

で理解するだけでも時間が掛かりました。特に条文では難しい表現が多く、暗記をするにもあまり頭に入ってきませんでした。しかし、講義の中でそれぞれの条文の意味や背景などを知ること、どのようなものなのかをイメージしやすくなりました。単なる文字の暗記では覚えたつもりでも次の機会ではすぐに忘れてしまっていたのですが、解説を聞くことで、記憶に残りやすく、繰り返し学習を進めるうちに難しい内容でも記憶が定着するようになったのを実感出来ました。一度、意味がわかってしまえば、応用の問題が出題されても対応することが出来、得点できる守備範囲が広がりました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去問は試験勉強の原点であると思うので、何度も繰り返し勉強することを心掛けました。正解した問題でも、なぜ正解で他が不正解なのかを説明出来ない問題や、なんとなく選んだら正解だった問題などもきちんと厳しく洗い出すことを徹底しました。間違えた問題は、納得するまで解答を読み込みました。時にはテキストに戻って1から見直す場面もあり、非常に時間が掛かりましたが、日々目標を決めて決まったペースで進めていきました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

権利関係の科目は苦手意識が強く、特に判例問題は手をつける前から難しそうだという先入観がありました。しかし、毎年必ず出題があるということでしたので、やるからには絶対に得点したいと思い、勉強しました。オリジナルの問題も取り扱っていたので、過去問を解くだけでは受からなくなってきているという昨今の状況を考慮しても、必要な講座だったと思います。期間に余裕がないと1点のための勉強に割く時間の余裕がないと思うので、早めに始めることが重要だと思いました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

試験1ヶ月前に今までのおさらいとして使用しました。時間が経って忘れてしまっている部分や、改めて自分の苦手とする分野の洗い出しをするのに役立ちました。わからない部分は再度演習総合講義に戻って、自信のない箇所を減らしていく作業を進めました。

また、過去10年以上前の問題が載っている点も、答えを覚えてしまっている過去問ではなく、新しく力試しするのに利用出来ました。

テキストもコンパクトにまとめられていて、当日は最後の見直し用として会場に持参しました。

宅建の参考書は分厚く嵩張るものが多い中で、すっきりとまとめられたテキストがあるのは助かりました。範囲の広い宅建試験の中でこのテキスト内にまとめられている箇所は最重要事項だと判断する材料にもなりました。

直前答練のご感想・ご利用方法

試験の数週間前に手をつけました。2回分を一通り解いて、わからなかった箇所をテキストの解答で確認し、それでも落とし込めなかった問題のみ動画の解説も確認するように

進めました。図解などわかりやすい説明で、イメージがしやすかったです。

問題を解くにあたり、「何問正解出来たか」という結果というよりは、「どの分野やどんな傾向の問題が得意・不得意か」を知るためという心持ちで活用していました。

ですが、直前ですと分からない問題に直面したときに勉強の進捗に焦りを感じましたので、1ヶ月程度余裕を持って取り組むのが良いと思います。

この頃には不安は残るものの、自信がないわけではないという感覚だったことを覚えています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は試験直前の1ヶ月で活用しました。自宅での模擬試験ですが、時間を計って本番さながらの状態を受験することで、どの科目にどれくらいの時間を要するのかや想像よりも見直しをする時間を取れないことなどに気づくことが出来ました。このような試験に臨むための姿勢や心構えを身につけるために、模擬試験は非常に役に立ちました。学習のラストスパートに通して何回か受験し、本番の感覚を身につけることが、当日の心の余裕に繋がりました。

本試験の点数

【権利関係】 8点

【法令上の制限】 5点

【税その他】 2点

【宅建業法】 18点

【免除科目】 5点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

独学の時よりも効率よく学習でき、モヤモヤ感も解消

張 瓊方さん

50代

会社員

2024/ 宅建試験 / 演習総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：3か月

宅建試験の受験回数：2回目

宅建試験を目指した理由・契機

現在は不動産会社に勤めておりまして、仲介及び管理業務をさせていただいております。日々の業務から宅建関連法令についての知識が不十分であることを自覚し、特にお客様に質問されるたびに法規制を調べたりするという慌たしさをなくすために、包括的な勉強が必要と痛感し、宅建試験を目指すように決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

子育て、家事、日常の仕事をこなすだけでも精一杯でありながら、出張の機会も多いため、予備校に通うのが難しくてインターネットでの受講以外に他の方法はないと思いました。

ネットサーフィンをするうちに、アガルートの講座を知り、他社と比較すると、アガルートの講義動画が見やすいし、教材も充実していること、さらに質問制度やホームルームを含む受講生へのサポートが手厚いこと、そしてスキマ時間でも学習が出来ることが決め手となり、受講を申し込みました。

合格体験記・学習上の工夫

昨年初めて宅建試験を受験した時は市販の教材を使って独学しました。しかし、教材だけ読んでも理解できなかった部分がところどころ出てきました。その時は大抵ネットで検索したりして自分なりに答えを見つけようとしたが、体系的な知識がないため、自分の解

釈がどうも腑に落ちませんでした。

そして、独学の際、宅建業法や関連法令の内容を理解するのに時間を取られた挙句、過去問の練習に力を注げなかったことがとても悔しかったです。

今年は再度チャレンジを決めたのが6月頃で、本格的に試験勉強をスタートしたのが8月中旬なので、いかに短い時間内に効率よく講義内容をインプットするとアウトプットするのが課題でした。毎日育児、家事、仕事に追われ、唯一集中的に試験勉強できるのが早朝の2、3時間のみです。そこで家族の協力を得ながら、勉強の時間を捻出することにしました。平日は朝4時起きにして、7時まで3時間の勉強時間が確保できました。休日は9時から夜まで丸一日図書館漬けでした。

試験直前に集中的に勉強すること以外に、講義や過去問に理解できなかった問題があるたびに、アガルートの質問制度を活用して、林先生に聞くことにしました。林先生がいつも迅速に答えてくださったおかげで、去年独学の時のモヤモヤ感がなくなって、学習に対しての自信も付きました。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

今年は本格的に試験勉強をスタートするのが8月中旬だから、講義の動画を2周するのが無理だと最初から覚悟しました。いかに短い時間内に講義の内容をインプットしてしかも印象に残すのを工夫しました。そこで考えたのは、毎回講義の動画を見ながら、テキストにもメモを取り、動画を見終わったら、すぐ該当箇所の過去問を解き、理解できていないところがあれば、早速テキストに戻ってじっくり読むという方法に定着しました。

講義動画一つのチャプターが大体10分前後で構成されていますので、通勤途中でも携帯電話で視聴できるのが大変助かりました。工藤先生の講義がとても分かりやすく、よく出る質問のパターンや、重要な箇所など講義中に説明してくれるので、テキストだけでは分からないポイントが把握できるようになり、学習の効率向上に大変役に立ったと思います。

時々明るい口調で励ましてくださって、まとまった勉強時間が確保できる時は長く動画を見ても全然飽きることなく、むしろ楽しかったです。

毎回動画を視聴した時に、重要なポイントを必ずテキストに書き込み、写しきれないところは一時停止や戻したりして対応していました。手書きでメモを取ることによって印象を深めることができ、テキストのみで復習する時はすぐにポイントが掴めるので、効率よく勉強できました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

工藤先生の択一解法テクニック講座の内容はすごく良くまとまっていました。まずは先生の基本の12問を確保するというアドバイスがとても単純明快でしたし、出題の傾向を分析することによって、学習の方向性を指示してくれました。次に、問題の読み方について、問いの「正」と「誤」、違反「する」か「しない」かの印付けによってミスを減らすテクニックを教えてくださいました。最後に先生が迷う時の考え方も伝授してくださり、試験本番中に

冷静に回答することができて、本当に助かりました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

私は元々は法学部出身ではなく、法律用語や概念には自信がなかったんです。その上、試験直前期になっても権利関係、法令上の制限、税などの動画がまだ一周も視聴できていない状況に置かれて、学習の効率を考えると、宅建免許にとって一番中心となる宅建業法に重点置き、学習の優先順位を決めました。

そこでまず演習総合講義の宅建業法の部分の動画を一周し終わったら、すぐに宅建業法逐条ローラーインプット講座に取り組みました。宅建業法逐条ローラーインプット講座では宅建業法全文を逐条に説明することで、総合講義のテキストでは細かく取り入れてない部分やその背景も分かるようになり、宅建業法の基礎知識や全体像を学習するのに大変有益でした。

過去問答練のご感想・ご利用方法

去年の経験では、過去問練習が足りないため、試験本番では問題を解く時間が長引き、焦りすぎて冷静に判断することができなかったんです。

今年は試験直前期に勉強時間が限られるため、過去問はまず1周することを目標としてABCランクを問わずに通り全問を解きました。全部の問題を解きながら、頻出問題や決まりのパターンがなんとなく掴めるようになりました。試験直前に、特に苦手な問題のみ目を通すことによって、印象を深めることに繋がりました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

私は元々法律用語や概念には自信がなくて、特に権利関係や民法関連の問題が大の苦手でした。模擬試験でもいつも民法の問題が出ると半分あきらめの気分になりました。渡航に制限行為能力者、意思表示、時効、物権変動、抵当権の過去問にいつも挫折していました。

しかし、小林先生の民法判例問題攻略講座では、難しい民法判例問題を各分野から網羅して、代表的な20問にまとめて、テンポ良く、分かりやすく説明して下さり、毎回動画を見るたびにすごく勉強になった充実感を得られました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

総まとめ講座について、まずは講師の林先生の熱意に感動しました。林先生がとても分かりやすく講義を行い、時々ジョークを飛ばしたり、親身になって励まして下さり、そのおかげで試験直前期の緊張感をほぐすことができました。

総まとめ講座のテキストについて、まずはレイアウトがとても分かりやすくできています。左側に問題、右側には解説及び復習用の説明が載っていて、一目で重点を掴むことができました。ここに抜粋された試験問題も基本的な問題や頻出問題が多くて、過去問を2周できない私にとってはとても役に立ちました。

テキストの作りはとてもコンパクトで持ち運びにも便利なので、私は試験当日に、この

総まとめ講座のテキストを持ち込み、ギリギリまで効率よく復習することができました。

直前答練のご感想・ご利用方法

今回はギリギリの試験勉強なので、直前答練は試験本番の2週間前まで手を付けられなかったんです。一回目の直前答練の点数は32点で合格ラインにはまだ届かず、かなりショックを受けました。でも講師の先生たちのアドバイスを聞いて、試験の点数に目を向けるのではなく、試験当日の時間配分や緊張感を体験することを目的であると自分に言い聞かせました。そして、試験当日の時間の流れをシミュレーションできるように、時計を設定し、水も飲まないように、2時間集中して試験を通せるように練習しました。

直前答練で間違えた問題や理解が曖昧な箇所を再度総合講義動画を見て、テキストにも戻って、手間暇を惜しまず確認しました。試験本番の前日に過去問答練及び直前答練に間違えた箇所や印をつけた箇所を最終チェックしました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

今回はギリギリの試験勉強なので、模擬試験を行ったのは試験本番の1週間前でした。模擬試験の点数は35点で合格するかどうかは微妙なラインでした。でも講師の先生たちのアドバイスを聞いて、試験の点数に目を向けるのではなく、試験当日の時間配分や緊張感を体験することを目的と思えば、少し落ち着いて回答に集中することができました。模擬試験で間違えた問題や理解が曖昧な箇所を一つ一つテキストに戻って、手間暇を惜しまず確認することによって、記憶を強化しました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

全ての講師の講義は素晴らしくて、大変勉強になりました。本当にありがとうございました。

講師の中で工藤先生と林先生に特にお礼を申し上げたいです。

動画を通して、親身になって、暖かい言葉で応援してくださって、心より感謝しております。

令和6年

宅地建物取引士試験合格

アガルートの講義だから継続できた

坪井 登志夫さん

50代 会社員

2024/ 宅建試験 / 演習総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：5か月

宅建試験の受験回数：1回目

宅建試験を目指した理由・契機

長年勤めた銀行を今年退職し、不動産総合デベロッパーに転職しました。ほとんどの社員が宅建士の資格を持っている中、早期に不動産業界にキャッチアップするため、また経営層からのプレッシャーもあり、受験を決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

学生の時から、勉強というものをしたことがなく、全くの独学では継続するのに不安があったこと、そうはいっても仕事が多忙で学校に通うことは不可能であることから隙間時間に勉強出来て合格実績の高いアガルートのWeb講座を選択しました。

合格体験記・学習上の工夫

あまり早く学習を始め過ぎても長続きする自信がなかったので、試験5カ月前となるゴールデンウィーク明けにアガルートの宅建講座を申し込み、学習を開始しました。学習の中心は朝の通勤時間（徒歩と電車合わせて片道40分）で、イヤホンで毎日講義を聴いていました。また、営業職で外訪が多いので日中の移動時間、（夜は接待が入ることが多いのですが、）接待のない日は帰り道＋帰宅後30分～1時間と、隙間時間に常に講義を聴く癖を付け、土日はどちらかの日にまとめて3時間程度、勉強していました。アガルートの講義は1セッションが10分前後と短く切れているので、こうした隙間時間を活用した学習にぴったりでした。テキストを一通り学習したところで分野別過去問に入りましたが、どうも私は性格的に一肢一肢が気になってしまい、過去問を解くのにかかり時間がかかることが分かりました。それで試験まで残り1カ月を切った時期に会社を3日程休み、温泉旅

館で朝から晩まで一気に過去問をやる時間を作りました。これで特に宅建業法をほぼ仕上げる事が出来、最後に試験10日前から分野別過去問をもう1周やりました。過去問は分野別を合計で2周のみでしたが、直前期に一股一股を確認しながら、チェックしたことでよい結果に繋がったと思います。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

毎朝、玄関を出てから会社に着くまでの間、スマホで再生した工藤先生の演習総合講義をイヤホンで聴いていました。私は本当に学習の習慣がなく、何をやっても三日坊主で終わることが多い性格であるため、宅建試験を受けるに当たって最も不安だったのが学習の継続性でした。しかしながら、工藤先生の明るいキャラクターと声質のお陰で毎朝の通勤時及び隙間時間に講義を聞くことが全く苦になりませんでした。また、(YouTube等のサンプルを見ただけではありますが、) 他の資格学校の講師陣が難しいことを難しく解説するのに比べ、工藤先生は難しいことを「そんなに難しくない」「簡単だ」と言って、考え方・覚え方のイメージを含めて説明していただける、これも途中で挫折せず最後まで学習が継続出来た要因だと思います。演習総合講義を一通り聞いた後に分野別の過去問をやって一股ずつ確認し分からないことがあれば再度講義を聞いてテキストを見て確認しました。また、テキストを見ても答えが載っていないような過去問の肢については極力深追いしないようにしました。時間の制約がある中での受験なので、満点ではなく合格点を取りに行くことに重きを置いたためです。初挑戦で宅建に合格出来たのは、かかるノウハウを含め本当に工藤先生のお陰だと思います。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

学習開始当初、中盤、直前期の3回視聴しました。社会人が働きながら受験するという時間の制約を受ける中で、満点を取りに行くのではなく、合格点を取りに行けばよいのだという意識付けとして極めて有効な講座でした。この講座のお陰で毎回過去問の焼き直しで出題されるとされた分野の対策が出来、実際の試験でもきっちりと基礎点を固めることが出来ました。また、マークミスをしないう解法を実際の試験でも活用させていただき、マークミスを防ぐことが出来ました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

私は宅建業法の条文を見ることなく演習総合講座の動画視聴とテキストにて宅建業法を一通り学習した後に、宅建業法逐条ローラーインプット講座を視聴しました。最初の感想としては、演習総合講義で学習した事項がこんなに細かいところまで宅建業法の条文で具体的に決められているのだという驚きでした。また、講師の先生も講座の最初に言及されていましたが、各条文で言及されている施行令、施行規則、関連法の条文がすぐ下に掲載されているテキストが秀逸でした。法律の条文が取つき難い理由のひとつが、条文で言及される他の条文や施行令をいちいち見ないと分からない点だと考えますが、このテキストのお陰で宅建業法の条文の理解が急速に進みました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

私は分野別過去問集での学習に想定以上の時間がかかってしまったため、時間的な制約から過去問答練については利用することはありませんでした。しかしながら、この答練は過去問での経験値を積むことは勿論のこと、実際の試験問題の出題順序に合わせて構成されており、実際の試験での解く順番や時間配分を戦略的にイメージするのに非常に有効だと思います。私はここまで行きつきませんでしたが、時間がある方は当然に活用した方がよいと思います。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

小林先生の説得力のある独特の話し振りもあってか、なるほどーと唸るような講座でした。民法の判例問題は問題の文字数も多く取つき難い印象があったので、この講座がなければ捨てにいったかもしれません。しかしながら、この講座のお陰で、判例の読み方や整理の仕方、実際に回答の肢では当該判例とは直接関係ないものも多く含まれること等を学び、むしろ率先して解きたい問題へと意識が変わりました。実際の試験で判例問題が出なかったのは残念でしたが、苦手意識なく試験に臨めたのはよかったと思います。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

権利関係、宅建業法、法令上の制限、税・その他と分野別に一通り学習した後で、この総まとめ講座を通して視聴したことで、初めて試験の全体感を持つことが出来、違う分野ながらそれぞれが繋がったような印象を持ちました。全ての分野、項目の要点が短いセッションの動画とテキストの各1ページにコンパクトに纏められており、特に薄くて軽いテキストが持ち歩いて隙間時間に復習するのに大変役立ちました。講義を聞いて、それって何だったっけ？と思って、演習総合講義をもう一度視聴して確認するといったことが多かったです。また、直前期の理解の再確認や整理、法令上の制限や税金等の数字の暗記等に非常に有効だったと思います。林先生の理路整然とした講義も印象深かったです。

直前答練のご感想・ご利用方法

私は直前期の試験本番対策としては、この直前答練の1回分と（受験会場の雰囲気味わうため、）他社が行っている会場模試1回を受けました。結果としてはアガルトでずっと学習してきたためか、（5問免除を除いた45点満点中、）直前答練が39点と得点が高く、かなり自信を付けることが出来ました。因みに、他社模試は34点、宅建の本番試験は35点でした。時間的な制約から過去問答練は1回分しか実施出来ず、間違っていた問題だけ解説の講義を視聴するという使い方になりました。横田先生の解説は非常に丁寧で印象深い内容だったので時間があれば全ての解説をじっくりと視聴したかったのですが、問題ごとに動画のセッションが分かれているのは時間のない立場としては活用し易かったです。

模擬試験のご感想・ご利用方法

過去問答練の欄でも既述しましたが、私は分野別過去問集での学習に想定以上の時間がかかってしまったため、時間的な制約から過去問答練同様に模擬試験についても利用する

ことは出来ませんでした。勿論、直前期に模擬試験をやることは苦手分野や曖昧な暗記事項の最終チェック並びに実際の試験での解く順番や時間配分をイメージするのに非常に有効だと思います。私は実施することは適いませんでしたが、アガルートの受講パッケージの中に模擬試験まであるというのは安心感がありました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

アガルートは個性的な講師の方が揃っていると感じましたが、特に工藤先生のお陰で毎朝楽しく講義を受講し学習を継続することが出来ました。また、工藤先生には各種資格試験を軒並み合格されたご自身の経験とノウハウを惜しみなく伝授いただき、時間的な制約がある社会人が資格試験に合格出来る最も効率的な方法を学び、合格に繋げることが出来たこと、本当に感謝しております。ありがとうございました。

本試験の点数

【権利関係】 8 点

【法令上の制限】 6 点

【税その他】 3 点

【宅建業法】 18 点

【免除科目】 5 点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

知識はもちろん、解き方のコツや戦略も学んだ

館 智哉さん

40代 公務員

2024/ 宅建試験 / 演習総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：8か月

宅建試験の受験回数：3回目

宅建試験を目指した理由・契機

私は地方公務員（税務課）として勤務しているのですが、日々の業務での法務能力の向上を目指してある民間企業が実施する自治体職員向けの検定試験の勉強をしていました。そんな中、上司から「せっかく勉強するなら、次は具体的な成果が残る将来のキャリアに活かせる専門知識の資格に挑戦してみては？一緒に宅建試験を受験してみない？」と誘っていただきました。

最初はあまり乗り気ではなかった私ですが、勉強を始めると、権利関係など公務員として身につけておくべき知識を学ぶことができ、また、固定資産税の事務を取り扱う関係で、宅建業者や司法書士、住民からの相続の相談等に應對する機会が多くあるのですが、これらに自信を持って臨めるようになるとの手応えを感じていきました。このように、公務員としての業務スキル向上と、実務に活かせる専門知識の習得という一石二鳥の機会だと感じ、宅建試験に挑戦することになりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

決め手となったのは、タイパとコスパの良さでした。講義動画は10分から長くても20分ほどでスキマ時間にサクッと視聴できる点が自分に合っていると感じました。日々の仕事に費やす時間や家族と過ごす時間を大切にしたいと考えたときに、休憩時間中や子供の塾のお迎え待ち時間の車内など少しの時間でも無駄にせず学習できると思ったからです。また、子育て世代の私にとって、必ずしも必須ではない宅建試験にかけられる費用はそう多くはありませんでしたので、他の予備校に比べて講座の価格が安かったことも重要でした。

合格体験記・学習上の工夫

1度目の受験は市販の参考書を購入し独学で臨み、合格点に2〜3点足りず不合格となりました。独学でもある程度出来そうだと考え、2度目は参考書を買ひ替えもせず、ろくに勉強もしないまま惰性で受験してしまい、当然、惨憺たる結果となりました。このままではダメだと思い、時間と労力と費用をかけて本気で望もうと決意し、3度目の受験ではアガルート宅建講座を申し込みました。この講座以外の参考書は一切購入せず試験まで走り切りました。

工藤先生もおっしゃっていたように、過去問2周目あたりまでは、アウトプットではなくインプットだと思って、不正解であってもめげずにどんどん問題に当たりました。正解であろうと不正解であろうと、すべての肢の解説を読み、解説に出てきたことに関連して「これに似たあのことはどうだったかな？」と思ったら即テキストに戻って確認するということを繰り返しました。そのためなかなか先へ進めず焦る気持ちが出てくるのですが、「これはインプットだ。テキストに戻って調べる時間も必要な時間だ。」と自分に言い聞かせて臨んでいました。確認したい時にすぐ確認するという意味では、テキストのデジタルブックがとても役に立ちました。勉強をしている時ではなくても、ふとした瞬間に「あれってどういう意味だっけ？」と疑問に思った時に、スマホですぐにテキストを確認することができたおかげで、知識を定着させることができました。

また、講義動画を視聴した後は、講義の音声データをダウンロードし、通勤や子どもの塾の送迎の車内、就寝前に布団に入りながらなドスキマ時間を利用して聞いていました。権利関係の講義動画の終盤を迎えそうな頃から、『追いかけて再生』のように権利関係の音声データを頭から聞くことによって最初の方に学習して忘れかけていた内容を復習しました。その後も宅建業法、法令上の制限、税その他・・・と動画を視聴しつつ、視聴し終えた動画の音声データで追いかけて復習するといったことを続けていました。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

私の合格は、ほとんどこの演習総合講義のおかげだといっても過言ではないと思います。

工藤先生の講義は無料体験で聞いたことがなかったため最初は不安がありましたが、最初の講義を視聴した後はそんな不安は一気に吹き飛びました。とても丁寧でわかりやすく、受験生の気持ちに寄り添った講義内容となっていました。

講義はテーマごとに細かく区切られていますが、ひとつのチャプターの講義が終わったら、すぐに次の講義に進むのではなく、必ずその講義の範囲のテキストを読み返してから次に進むといった方法で学習していきました。

また、そのテーマの講義の後には過去問の解説動画があるので、それを見ながら一緒に解きつつ、過去問集の同じテーマの部分を解き終わった後に、次のテーマの講義を視聴するといったやり方で進めていきました。これもホームルームで工藤先生がおっしゃっていたインプットとアウトプットを繰り返し学習していく方法で知識が定着しとても効果的だったと思います。

また、合格体験記でも述べたように、講義を視聴した後、忘れかけたところに音声で追いかけるように講義を再度復習しました。基本的に動画の視聴は通して1回で、その後は、過去問を解くことができない運転中などに、音声をながら再生で聞きながら学習していました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

一度講義を視聴して繰り返し復習するようなものではありませんが、肢を絞る際のテクニックを短時間で学ぶことができ、解答時間の短縮に繋げることができたと思います。過去2回の宅建試験では、50問を解くことで精一杯だった私ですが、この講義で得られた肢の切り方のテクニックであったり組み合わせ問題の対応策であったりをマスターできていたからこそ、今回の試験では十分に見直しの時間を取ることができたため、心に余裕を持って、自信のない問題に時間をかけて取り組むことができたと感じています。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

私がフルカリキュラムを選択した理由のひとつが、この宅建業法逐条ローラーインプット講座があることでした。不動産業の実務経験がない私にとっては、宅建業法はまさに門外漢であり未知の分野でしたので、宅建業法の分野をいかに理解し正解率を上げていくかが合格のカギであると感じていました。

これまでの業務の経験上、実際に法文にあたることがその法律を理解することに重要であることを理解していましたので、権利関係や法令上の制限の学習でも、テキストに参照条文が掲載されているときはその都度インターネットで該当の法律を検索し確認していましたが、特に得点源となる宅建業法において特出しで逐条解説の講座を解説していただいていたので、活用しない手はないと思いました。

特に、宅建業法の条文中で引用・委任されている法令・規則等がすぐ条文の下に四角囲みでわかりやすく記載されているところはとても良かったと思います。試験に出る範囲は宅建業法に記載のあるものだけでなく他の法令や政令等に委任されていたりするため、それらを確認しに行こうとすると非常に手間がかかるのですが、その手間をすでにテキストの中で先にやっておいてくれたので、とても効率よく学習することができました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去問集を3周ほどしてから直前答練、模擬試験、過去問答練へと進んだのですが、最終盤に思ったほど学習ペースが伸びなかったため、過去問答練は全5回のうち結局3回分しか取り組むことができませんでした。

過去問について出題年度をランダムにしつつ本番と同じような構成で作られているので、経験を積む上で良い練習になりますし、最終盤で取り組んだこともあってか、ある程度得点を取ることができたので、本番に向けての不安な気持ちに対する精神安定剤の役割を果たしてくれたと思います。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

判例問題の解き方のコツを集中的に解説してくれる講座で、元々それほど苦手意識があった訳ではありませんでしたが、判例文の読み解き方や理解するテクニック、キーワードの解説など、判例問題に対する自信をさらにつけることができました。過去問だけではそれほど経験を積むことができない分野の問題だと思いますが、オリジナルの問題が多数含まれていて、何問も経験を重ねることで十分に練習をすることができたと思います。結果的に、今年度の試験問題では判例問題は出題されませんでしたが、苦手な受験生が多い中で差をつけたかったのもむしろ出題してくれても良かったかなと思います。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

総まとめ講座のテキストは要点のみが詰まっていた忘れかけていた知識を最後に総復習することができ、非常に効率よくまとめられたテキストとなっていました。私の活用方法としては、総まとめ講座の中で復習を行う中で薄れた知識の定着を図りつつ、総まとめ講座のテキストでは削られている論点などがなかったかどうか自分の頭の中で確認し、うっすらでも何かこんなことが他にもあったかもと感じたら、必ず演習総合講義のテキストに戻って確認するというやり方を徹底しました。そうすることによって、最重要論点は総まとめ講座の中で効率よく、それ以外の知識についても演習総合講義のテキストで復習することができました。一番書き込みをしたのは演習総合講義のテキストでしたので、復習するにも演習総合講義のテキストを振り返った回数の方が多かったように思いますが、そのきっかけを作ってくれる講座であったと思います。

直前答練のご感想・ご利用方法

過去2回の試験も、そして過去問集においても当然のように権利関係から解き始めて法令上の制限、税その他、宅建業法、免除科目・・・と進めていました。そして、直前答練についても同じように問1から順に進めたのですが、難関の権利関係のところであつまずいてしまったことから、いつもであれば解けるはずのその後の問題も焦りから落としてしまい、見直しもままならず得点も振いませんでした。恥ずかしながら、これまで過去問を順番通りに解いてきたのみで、戦略的なことは何も考えておらず、心の動揺がこんなに試験結果に影響することを初めて感じました。そんな中、解説の横田先生が、1問目から解き始めなくても宅建業法（解ける問題）から解き始めれば、気持ちが落ち着くということをおっしゃってくださり、目から鱗でした。これもまた恥ずかしながら、この時まで何問目から何問目までがどの分野が出題されるかということも把握していませんでした。このようなことに気付かせていただけたのは本当に助かりました。結果として私は、問23（税その他）から問50まで解き、その後に問1から問22をじっくり解くというのが最も自分に合う方法であることを見つけ出すことができ、試験本番も落ち着いて臨むことができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

過去問答練、直前答練も含めてですが、実際の試験と同じサイズ（A4）の問題にいざ

挑むと、これまでA 5サイズの過去問に目が慣れているので、その違和感を事前に把握でき経験できたことは良かったと思います。模試の結果を見て、改めて自分の苦手分野を把握できたことや、理解していると思っていたことも、過去問集で同じ分野の問題を続けて解いていたことで正答できていただけて正確に覚えていなかったこと、また、自分はマークミスなどするはずがないと思っていたのにしてしまったこと、途中でトイレに行きたくなってしまったこと、筆入れに消しゴムを用意して模試に臨んでいなかったことなど・・・細かいところも本番と同じような条件で行うことで気付くことがたくさんありました。このようなことを直前期に気付けたことで、本番に向け準備を整えることができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

講師の方々、本当にありがとうございました。特に、演習総合講義やホームルームでお世話になった工藤先生にはとても感謝しています。学習のモチベーションを保ち、受験生を励まし続けてくれたおかげで、合格を勝ち取ることができたと思います。本当にありがとうございました。

また、KIKERUKUNについてですが、疑問に思ったことをいつでも質問でき、そして、すぐ回答してくださるサービスにとっても満足しています。ありがとうございました。

令和6年

宅地建物取引士試験合格

この講座が合格への最短ルート

吉成 香織さん

40代 会社員

2024/ 宅建試験 / 演習総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

宅建試験の受験回数：2 回目

宅建試験を目指した理由・契機

友人が宅建試験を転職のため取得したいので一緒に勉強しないかと誘われ、ちょうどその頃、家を購入しようとしており、仕事で間接的に触れる機会があり興味をもったため。そして、宅建取得後に、会社を立ち上げ、友人と共同経営していくため。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

令和5年度に独学で宅建試験を受験したが、3点足らずに不合格となってしまった。次は確実に宅建の合格を目指そうと考え、独学はやめ、講座受講での合格を目指すことにした。合格率、費用面でしぼり、最終的に工藤先生の印象から、合格イメージが湧き、受講を決めた。

合格体験記・学習上の工夫

- ・勉強時間について、異業種で働いており、残業、出張も多い会社のため、寝る前に2時間と、土日休日と決め確保した。
- ・学習進捗を毎月のオリエンテーションの機会に確認し、アガルートスケジュールから遅れないように注意した。
- ・4、5、6、7月頃は気持ちが中弛みし、学習進捗が遅れてしまったため、朝にも勉強時間を確保し、進捗の遅れを補った。
- ・学習途中何度も同じところを間違えたりし上手くいかないときは、講師の先生の諦めないという言葉は何度も思い出して、心の中で繰り返し唱え、合格できるんだという気持ちを継続させた。

- ・アガルート受講スケジュール通り、演習総合講義及び過去問を、通勤時間はTOKERUKUNにより、答えを覚えるくらいまで何度も繰り返し行った。(テキスト、過去問とも10回以上)。試験一カ月前に直前答練を実施し、正解率は8割前後だった。
- ・特にTOKERUKUNは、正解率、自分自身の正誤を確認できるため、スキマ時間に有効で、かつ短時間で学習を繰り返し進められることから、過去問の正解率を上げる元になったと思う。
- ・合格には、宅建業法、法令上の制限、税・その他の分野において、高得点が必須と考え、読み飛ばしはせず学習した。特に宅建業法は夏頃から5割増しで学習時間を増やした(一週間の中で他の分野と平行して宅建業法の学習を小項目毎に学習する)。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

演習総合講義は以下のように進めた。

- ・1回目、テキストを見ず、メモをとらずに、動画での内容を、理解できなくても、過去問含め一巡する。
- ・2回目は、動画を途中とめながら、テキストに直接コメントを書き込む。
- ・3回目は、動画、テキストのコメントを確認しながら、理解度を過去問で確認し進める。理解できていないと感じたところは、最初のページに、バツを記載して、わかるようにした。
- ・4回目以降は、動画の視聴速度を、1.5倍にし、繰り返し視聴する。
- ・特に宅建業法は、1週間に一回、小項目毎に、他の分野と平行して、テキスト、過去問に目を通す。
- ・アガルートスケジュール通りと行かないところもあったが、権利関係、宅建業法、法令上の制限、税・その他の順番で学習を進めた。但し、宅建業法、権利関係は勉強時間を増やし、知識習得の向上に努めた。(特に宅建業法は、毎月何かしらテキストを読み返していた記憶がある)
- ・TOKERUKUNで正解率が低い、分野の小項目について、間違えるたびに、テキスト、過去問に戻り、動画も再視聴した(2倍速で視聴時間を短縮)。
- ・テキストや過去問において、わからない用語や、独特の言い回しは、ネットを活用し確認した。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

- ・択一解法テクニックでは、これまで、演習総合講義でインプット・アウトプットした知識を、さらに効率的に、理解するため、とてもためになる講座だった。
- ・フルにのみ受講できる講座であり、宅建試験経験者であっても、フルでの受講を検討すべきであると考える。
- ・その後の過去問の正解率をあげるきっかけになった。
- ・私自身、わかった気になっていたところを洗い出しし、更に理解を深めるきっかけにもなり、学習を続けるモチベーションが結果的に高まったと考える。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

- ・私が試験を振り返り、宅建試験の宅建業法の問題で高い正解率を得られたのは、この講義のおかげと考える。
- ・一見、言い回しが堅苦しく、理解し難い表現が多かったですが、テキストは、ランク付けされ、また宅建業法の記載に続き、施行令等が続けて記載されていた。この一冊で宅建業法の1条から通して確認できる構成は独学では難しく、費用を費やすが故の効果だと思った。
- ・この一冊により、その後の業務の際の知識の振り返りにも助けになると考える。
- ・動画の解説はわかりやすかった。
- ・テキストの大きさ、厚みも適度で持ち運びしやすいこともよいと考える。

過去問答練のご感想・ご利用方法

- ・過去問をこれまで何度も繰り返ししていたため、見たことが問題として、自信をもって解答出来ているとわかったことは、これに調子にのらず継続して勉強すれば合格できると自信を持つ機会のひとつになったと思う。
- ・正解率は、8割以上となり、間違ったところがどうして間違ったのか、解説の読みこみ、理解、テキストに戻りその内容を再び読み返した。
- ・更に、間違いや正しいと判断出来ず解答した問題を明確にし、本番前に、何度も問題を繰り返し聞いた。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

- ・過去問に加え、民法判例問題の攻略は、民法の全体を苦手としていた私自身の学習意欲向上と解法の助けになったと思う。
- ・過去問で何度も不正解となり、どのように取り組んでいけばよいか悩んでいた時期もあり、この講座受講後に自信をもって得点できるようになった。
- ・令和6年度は判例問題が出題されず残念だったが、試験に取り組む前に、民法判例がでても大丈夫というところまで気持ちを引き上げられたところはよかったと思っている。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

- ・総まとめ講座は、私自身、理解度に遅れがあり時間をかける余裕がないと判断したため、テキストを広げながら、動画を視聴することを一回のみとし、繰り返しの視聴はしていない。
- ・左側過去問、右側解説と、重要なところを短時間で広く万遍なく振り返りをすることに適しているテキスト・講座だと思う。
- ・総まとめ講座で理解不足だったところを発見でき、再びテキストの読み込み、動画視聴、TOKERUKUNを繰り返すことに注視できたことは、試験本番にあたり比較的回き覚えのある表現として、問題に取り組むことができ、焦りや緊張が少なかったと思

う。

直前答練のご感想・ご利用方法

- ・直前答練にて過去問と出題方法が変わることにより正解できないという現実がわかり、更に理解を深める必要性を実感する良い機会となった。
- ・構成・内容とも試験本番に近く、プレとして活用し、時間も本番同様としてとらえ、時間を計測して行った。
- ・問題の進め方は、宅建業法からはじめ、最後に、権利関係の問題を問いた。
自信がない問題はあとで落ち着いて再トライできるよう、ページを折り込みわかるようにした。
- ・問題を解く際、本番試験のプレとして、問われている内容が正しいもの場合は、○と問題用紙に先に書き、ひとあしごとに、○×をつけ、該当箇所の下線をひき、ケアレスミスをなくすよう配慮した。
- ・直前答練で間違ったところを、解答解説、テキストの読み返しを行い、再度、試験本番までに、正誤を正しく判別して正解できるまで繰り返した。

模擬試験のご感想・ご利用方法

- ・模擬試験は、直前答練と同様に、やはり問題の出題の仕方が変わることによって正解率が下がった。よって、間違ったところのテキスト、過去問の確認をし再理解した。
- ・直前答練同様に、時間をはかり、問題の進め方は、宅建業法から解き、問題文への解答記載のルール（○×をかく、下線を引く等）は変えず問題に解答した。
- ・正解率をあげるため、TOKERUKUNを、最後の1から2カ月は、ハイペースで繰り返し行った。
- ・試験直前に、再度模擬試験を行い、ほぼ満点を取得した。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

工藤先生他動画の解説が丁寧でわかりやすく、また途中の励ましにより、合格することができました。

本当にありがとうございました。

本試験の点数

- 【権利関係】 8 点
- 【法令上の制限】 6 点
- 【税その他】 2 点
- 【宅建業法】 18点
- 【免除科目】 5 点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

ポイントが絞られ補足説明がある講義で知識が定着

今村 圭吾さん

40代

公務員

2024/ 宅建試験 / 演習総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：7か月

宅建試験の受験回数：2回目

宅建試験を目指した理由・契機

今後マイホームを購入する際に、多少なりとも知識があれば損することなく購入ができるのではないかと考えたこと。また、今の仕事が続けられなくなった際に、資格を保有することで再就職の容易性や、起業により仕事を確保できると思ったから。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

前年に、他社の通信講座を受講していたが、テキストの内容は特に問題がないと感じたが、講義の大半がテキストを読んでいるだけで余り意味がないと感じて、講義が充実しているところを探していたら、アガルートの講義内容のロコミが良かったので受講しました。

合格体験記・学習上の工夫

私は2回目の挑戦だったので当初2月頃に講座を申し込んでから、4月初旬から学習を開始しました。

比較的前年の勉強成果が残っており、概ね内容は覚えていたので、最初は復習を兼ねてオンライン講義を全て通して視聴し、テキストはあまりこの時は見ませんでした。理由としては、講義では概ねポイントが絞られ補足説明があるので当初はこれで十分だと思ったからです。その後は、問題集を解いていくことに集中しました。問題集を解く回数が増え、すぐに理解できている内容と何回も間違える内容（しっかりと理解できていない項目）がはっきりと見えてくるので、間違えた問題の解説を確認しても理解できない場合は

テキストに戻って確認し、知識の定着を図りました。また、試験を受けるまでは、やはり仕事が忙しくて体がきつい時や、子育てで勉強時間の確保が困難な場合がどうしてもあるので、勉強の中断期間を2～3日以上は空けないように気を付けるとともに、毎日無理のない範囲で最低1時間は勉強を継続すると決めて頑張りました。そして、オンラインでは、隙間時間が活用できるところがメリットなので、昼休みに20～30分隙間時間で問題を解いて勉強できなかった日の分を補完しました。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

私は2回目の挑戦だったので、比較的前年の勉強成果が残っており、概ね内容は覚えていたので、最初の講義の視聴目的として、復習を兼ねて全体像を把握すること、講義内容は充実しているかどうかを確認するため利用しました。内容としては、ポイントが絞られるテキストの内容を読むだけでなく、補足説明や関連性のある事項について説明があり、十分な内容だと思いました。一通り講義を視聴した後は、問題集をひたすら解いて自分の弱点を洗い出す作業にとりかかりました。問題集を繰り返すと、毎回間違うところや、すぐに解けるところが明確になってくるので、毎回間違うところについては、講義動画を見直し、テキストに記載されていない補足・説明等があったならば筆記して、後で見返せるようにして、周辺知識をさらに増やせるように努めました。講義内で補足・説明が多数あることによって理解度の向上及び知識の定着にも繋がったものと考えられます。

また、独学で勉強しようとしても、範囲が広く用語の理解も最初は難しいので挫折しがちでしたが、進捗状況が表示されているので早く終わらせて100%表示にしたい等によりモチベーションが維持でき勉強も継続できたと思います。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

一通り、講義の視聴及びテキストの読み込みと、過去問を実施する間に、講義を一度だけ視聴しました。この合格体験記を作成している約半年前のことなので、正直どの様な講義内容だったか覚えておりません。自分がこうして振り返って思うことは、過去問題を繰り返し解くことや模擬試験の際、無意識に色々なテクニックを使用して解いていたと思いますが、テキストによって知識を確実に定着させて試験に臨めるようにすることが一番の合格への近道だと思います。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

本講座の目的である宅健試験で最重要科目である宅建業法を条文レベルで完全に理解できるというのは、自分には大変厳しいと思いました。やはり、法令となると回りくどい難解な表現方法があるので、その点も考えられて講義内の補足的説明はありましたが、その他にも、項目の記述体系の中で、例えば「○項○号による。」の様な表現があれば、どの様なことを示していたか思い出せず見返す必要もあり、時間効率が悪いと思いました。そのため、基本はテキスト内で要点がまとめられ必要な知識は完結できるため、条文を見たことない自分は、試験の頻出度合いに関わらず、漏れが出ないようにするため、テキスト

内で記載されていない箇所の知識をほんの少しでも頭の片隅に入れられるよう着意して活用しました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

内容及びボリューム的には十分であったと思います。自分の場合は講義を一通り聞く、テキストを確認する、そしてひたすら過去問を解くという方法でした。問題集を3周もすれば、毎回間違える（ひっかかる）箇所が分かったので上段右隅の3つの四角内に○×を記載して理解度を記載しました。4周目を実施するときには、過去3回○がついているところは飛ばし、×が一つだけでもあるところは解いていく要領で時短を図りました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

自分は権利関係で特に民法の分野が特に苦手だったのでこの講座は大変助かりました。なぜ苦手かという点、そもそも条文が読めない、言い回しや用語の意味が理解できない等の様々な理由があります。それに加えて、問題の判例は長文で読み込むだけで時間がかかり、1回読んだだけでは理解ができずに読み返す必要もあったためです。この講座では、解き方のテクニックまで解説されており大変参考になりました。やはりこのような解説が聞けるのが通信講座の強みだと思いました。おかげで1点取れました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

宅建業法、法令上の制限、税・その他、権利関係のテキスト内容が更に要点を絞ってまとめられていたので、まずは直前期におさらい程度で講義とテキストを確認しました。また、プラスαとして本テキスト内へ、記憶があやふやで知識が曖昧になっている箇所、毎回間違えた問題内容を簡易的に、そして法改正によって重要かつ試験に出そうな内容を追加で記載して記憶の定着化を図るとともに、最終的には本試験前の時間を活用して短時間で全ての見直しができるためのテキストとなるようにアレンジしました。実際に、本試験1時間前は本テキスト1冊を最初から最後まで試験開始の直前まで見返し、自分の弱点克服に繋げ最後の詰め作業を行えたと思います。

直前答練のご感想・ご利用方法

直前答練を開始したのは試験本番の約2か月前でした。この時期から開始した理由として、宅地建物取引業法をはじめ、その他の科目についても問題集を複数回こなし概ね過去10年分の問題も解けるようになっていたからです。直前答練の内容については過去問の組合せなのであまり難しく感じることなく、民法以外はほぼ解けたかと思います。しかしながら、過去問題集だけを周回していれば、問題の出る順番や回答を覚えていたりするので、シャッフルされた問題を解くことによって意味あるものになったかと思います。また、本番試験同様のマークシート式回答用紙があったので、マークを塗りつぶす作業を含め、解く時間配分、見直しの時間の目安になるよう着意して利用しました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験を実施したのは試験本番の約1か月前でした。直前答練も一通りは実施して時間配分等の目安も自分の中で持ち合わせる事ができていたからです。この時点で、本試験を受けても大丈夫かなというくらいになってたつもりでしたが、実際に解いてみると、初見の問題となるため問題文の見返しや、注意深く慎重になってしまうため、直前答練で考えていた時間配分通りにはならず、改めて時間配分を見直す良い機会になったと思います。また、合格点ではありましたが思いの外、宅健業法を落としてたので残りの勉強時間は宅健業法を主としました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

無事合格できました。ありがとうございました。また、他の資格を取りたくなった時にお世話になるかもしれないので、その時は宜しくお願いします。

本試験の点数

- 【権利関係】 9点
- 【法令上の制限】 5点
- 【税その他】 2点
- 【宅建業法】 19点
- 【免除科目】 5点

令和6年

宅地建物取引士試験合格

取り組みやすい講義で勉強への意欲を損なわなかった

郷田 紗希さん

30代

会社員

2024/ 宅建試験 / 演習総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

宅建試験の受験回数：3 回目

宅建試験を目指した理由・契機

なにか手に職をつけたいと考えていた時、衣食住の中で住が一番安定しているのではなかと考えました。その中でも独占業務のある宅建ならば今後の人生でなにかあったとしても、時間を置かず就職するための手助けになるのではないかと考え、勉強を始めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

二年ほどほかの通信教育で勉強をしていたのですが、あと一歩が足りず伸び悩んでいたところアガルートアカデミーの広告を拝見しました。一番魅力的だったのは実際の過去試験問題を集めたテキストで、実際の試験と同じような形式の問題を解き続けれるのが受講の決め手でした。

合格体験記・学習上の工夫

仕事をしながらの勉強になりましたので、まずは時間の確保が一番苦労しました。家族にも協力してもらいながら就寝時間の一時間前には机につき、毎日45分は勉強するというルールを定めて続けていました。基本的には毎日勉強することがほとんどで苦でもなかったのですが、仕事の繁忙期になるとなかなか時間の確保ができないことが悩みでした。なのでまずは続けることを目標にし、45分以内でも、1日5分でも10分でもいいのでとにかく継続することを心掛けていました。既に2回ほど宅建試験を受けていたのでテキストは復習を兼ねていましたが、細かい情報や忘れてしまっていた情報もあったので、講義でわ

かりやすくまとめてお話を聞けるのも勉強を継続できた一因だったかと思います。また様々なデバイスで講義やインプット講座の動画を見ることが出来たのもよかったです。通勤時や出掛ける時にはスマートフォンで動画を流しながら、ラジオのように聞き流して勉強することができるのは時間がない中勉強をしている身としては非常に助かった部分の一つでもあります。講義動画に関しても、細かくチャプター形式で分けてくださっていたので、試験が近付くと苦手な部分をピックアップして動画を確認し直して自分でまとめたり、二日に一回は試験形式の問題をこなすなどして、本番に向けて備えていました。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

まずはチャプターごとに細かく分けて動画を見れるようにしてあるのが非常に助かりました。時間がない中勉強を続けていたので、長い動画はどうしても見る気になれない日が多いというのが現実です。同じ項目の中でもキリがいいとこまでをわかりやすく解説してくださっている動画は、見るためのハードルが非常に低くて勉強に取り組みやすかった要因の一つだと感じています。実際のテキストと同じものを画面に映しながらの講義も追やすく、動画なので分からなかった部分をすぐに再生し直したり、マーカーで引くような重要な部分を一時停止で確認することができたりするのは、オンライン学習ならではの魅力だったと思います。それでいてわからない部分はすぐに質問出来たり、ホームルームのような雰囲気での受講者の皆様がどんなことに悩んでいるのかといったことを知れたので、頑張っているのは私一人ではないのだという一体感のようなものも感じながら勉強することが出来ました。章ごとの最終チャプターでは特に重要な点をピックアップしてまとめてくれていることで、試験直前の時期には最後のチャプターだけを見直して再確認できる点也非常に良かったです。講師の先生方も皆様明るく励ましながら講義を進めてくださるので、勉強に対する意欲を損なわずに本番までモチベーションをキープすることが出来ました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

2回試験を受けてきた中で、今までもこういった解き方や進め方をすればいいという情報は入ってきていましたが、その中でもわかりやすく説明をしている動画だったなと感じました。特にわからない部分をマークせず問題を進めてしまうのは非常にミスを起こしやすい部分だと思いますので、動画で言われて改めて注意しようと思った点の一つでした。また毎年情報が更新される統計の問題を始めに済ませてしまうというのも理にかなっていて、今回の試験でも非常に役に立ちました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

本来であればテキストを追いながら動画を拝見するのが王道の使い方かと思うのですが、私は日々の通勤の中でラジオのようにして聞いていました。毎朝毎夕聞き流すことで、帰宅後のテキストや練習問題でもこれは今日聞いたぞ、先日聞いた気がするな、と記憶の片隅に残りやすかったです。実際に提出しなければいけない書類のサンプルもテキストの最

後に付録として載っていて、不動産業界で仕事をしたことのない私はこういうものを取り扱うのか、と合格後宅建業界に就職したあとのことをイメージしやすかったのも魅力的でした。講師の先生の実際の体験談を少しずつ混ぜてお話しくださるのも良い点で、先達がそれで成功しているのならば真似をしてみよう、と勉強の方法を考え直す要因にもなりました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去の問題をそのまま問題集として纏めている部分が、個人的には非常にありがたかったです。正誤で答える問題集も勉強にはなるのですが、いざ初めての本番になった時、四択の中から選ぶことに慣れていないと非常に混乱したことを今でもよく覚えています。実際の形式をそのまま使っているからこそ、模擬試験でも「この問題は見たことがある！」と回答することが出来たときもありました。やはり四択から正解を見つけることに慣れておくのは、実際の試験を受けるにあたって一番重要なことだと思います。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

日常で使わないような文章をいかに読み解くか、というのが民法判例問題の一番のポイントだったように感じます。勉強していて一文のなかに様々なことがすべて詰め込まれているような文もあれば、ややこしく難しい言葉を並べた文になっているものもあり、最初はどうやって勉強していいのかわからなかったのをよく覚えています。講座では文章をどういう区切り方をして読めばいいのか、この文章はつまりこういうこと、と実例を取り上げて解説してくれているところが、普段使わない文章を読み解くために非常に役立ちました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

文字通り、今まで勉強してきたものの総復習といった内容で、最後の1か月半は毎日のようにテキストを読んでいた。全ての分野の内容の、中でも特に重要な部分を表にしてまとめてくれていたこともあり、苦手な分野の部分は特に読み込んでいました。特に借地借家法のような似たようなルールがたくさんあるものや、都市計画法のなかでも数字を細かく覚えなければいけないものでは、非常に助けられました。全ての内容がコンパクトにまとめられていることもあり、電車での移動時やちょっとしたスキマ時間にも目を通すことができ、時間のない社会人が勉強するために役に立ったものの一つだと思っています。苦手な部分には付箋を貼り、試験会場への移動時にも確認することが出来たのは嬉しかったです。

直前答練のご感想・ご利用方法

試験という形式を思い出すため、最後の一か月は何度か繰り返し直前答練での勉強を繰り返しました。一年ぶりの受験ということもあり2時間で50問回答、見直しを出来るかという不安もあったので、複数回練習が出来たのは非常に助かりました。問題も回答したあとはきちんと解説が載っていて、間違えた問題のどこを間違えていたのかという確認がす

ぐに出来てインプット出来るのは非常に良かったです。内容も過去問答練から抜粋しているものだったので、間違えた問題は過去にも間違えていたのか、複数回間違えていた場合はここが自分の苦手なポイントなのだと明確にすることが出来たのは、直前期に復習や覚え直しをする上でとても重要なことだったと感じています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

実際にやってみて思ったのは、本番の試験によく似ているなという点でした。2回受験した際、どちらも最初のほうで今まで見たことがないような問題が出てきたり、急に難しい言葉を並べた問題が出てきて混乱した経験を、ありありと思い出したのを覚えています。その感覚がそっくりそのまま味わえる模擬試験だったのもあり、過去問でもっと難しい問答に慣れておかなくてはと直前期のやる気が更に上がるような内容でした。勿論解説もきちんと用意されており、どの部分が間違えていたのかを即座に確認できるのも魅力的でした。

令和6年

宅地建物取引士試験合格

アガルートの親身なサポートが大きな原動力になった

花田 由理子さん

50代

会社役員

2024/ 宅建試験 / 演習総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：2か月

宅建試験の受験回数：4回目

宅建試験を目指した理由・契機

もともと不動産賃貸業をしていて、不動産売買の仲介手数料が結構高額になると知り、レインズを見たり、不動産用語がわかるようになったり、不動産売買ができるようになると有利になると思ったので、宅建士になろうと考えました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

どこでもよいとは思ったものの、ある程度実績が高い通信講座を調べて、かつ、紹介動画の感じがよかったところにしようと考えました。3回僅差で落ちたので、最後の背中をおしてもらえるような講座に決めようと思いました。

合格体験記・学習上の工夫

初めて宅建士試験を目指したとき、広範な試験範囲と膨大な情報量に圧倒されました。しかし、アガルートの効果的なカリキュラムとサポート体制が、その不安を大きく軽減してくれました。

特にオンライン講義は、自分のペースで学習できる点が大変魅力的でした。講師の方々は、難解な法律用語や概念をわかりやすく解説してくださり、具体例を交えることで理解を深めてくれました。また、各講義には豊富な資料が付随しており、自宅学習の質を格段に向上させてくれました。

模擬試験や過去問演習も非常に有用でした。これらの実践練習を繰り返すことで、試験

の出題傾向を把握し、時間配分の感覚を身につけることができました。試験当日は、この経験が自信に繋がり、冷静に問題に取り組むことができました。

さらに、アガルートのフォローアップサービスは、私にとって大きな支えとなりました。質問対応や学習アドバイスを通じて、不明点を解消し、学習意欲を維持することができました。講師やスタッフの皆さんの親身なサポートが、合格への大きな原動力となりました。計画的な学習と自己管理が成功の鍵だと思います。何とか合格できました。本当にありがとうございました。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

アガルートアカデミーの宅建士講座に含まれる演習総合講義は、私にとって大きな学びの機会となりました。宅建士試験に必要な知識を効率的に習得するために、理論と実践をバランスよく取り入れた内容が素晴らしかったです。

まず、講義の構成が非常に論理的で、各トピックが順序よく進行します。これにより、学習内容を段階的に理解しやすく、自然と知識が定着しました。講師の説明も明瞭で、難解な法律用語や概念がわかりやすく解説されています。

さらに、実際の試験を想定した演習問題が豊富に用意されている点も、大きな魅力です。これらの問題を通じて、自分の理解度を確認し、弱点を把握することができました。また、解説が詳細で、なぜその選択肢が正解であるのか、または不正解であるのかを丁寧に説明してくれるため、問題を解くスキルが着実に向上しました。

特に印象に残ったのは、講師の方々のフォローアップです。疑問点が生じた際には、オンラインで質問できる環境が整っており、迅速かつ的確な回答をいただきました。このサポート体制があることで、学習の進捗が滞ることなく、スムーズに進めることができました。

加えて、講義の中で提供される実践的なアドバイスも非常に有益でした。試験の時間配分や解答テクニック、試験当日の心構えなど、具体的なノウハウを学ぶことで、試験に向けた心の準備が整いました。

アガルートアカデミーの宅建士講座を受講した結果、試験に対する自信が大いに高まりました。講義内容はもちろん、教材の質や講師のサポート体制が整っていることにより、短期間で効率よく知識を身につけることができました。

択一解法テクニック講座のご感想・ご利用方法

この講座は、試験対策において極めて有効でした。各テーマに対する具体的な解法テクニックを学ぶことで、正答率が飛躍的に向上しました。講師の分かりやすい説明と実践的な例題が豊富で、自信を持って問題に取り組むことができました。特に、時間配分のアドバイスや効率的な解答方法が役に立ち、試験当日における緊張感を和らげることができました。講座を通じて、試験合格への道筋が明確になり、大変有益な学習体験となりました。

宅建業法逐条ローラーインプット講座のご感想・ご利用方法

アガルートアカデミーの宅建業法逐条ローラーインプット講座を受講した感想をお伝えします。

この講座は、宅建業法の理解を深めるために非常に有効でした。各条文を一つ一つ丁寧に解説してくれるため、法律の全体像を把握しやすくなりました。特に、複雑な法令や規定を具体例とともにわかりやすく説明してくれる点が大変役立ちました。講師の方々は、難解な法律用語を平易な言葉で解説してくれるので、初学者でも無理なく理解できました。

また、講義の進め方も非常に効率的で、短期間で集中的に学習することが可能です。各講義の後には、復習問題があり、理解度をチェックすることができるので、自分の弱点を明確にし、重点的に復習することができました。

特に良かったのは、実践的なアドバイスや試験対策のポイントを細かく教えてくれる点です。これにより、試験本番に向けた自信が大いに高まりました。

過去問答練のご感想・ご利用方法

過去問答練は、試験対策として非常に有効でした。実際の過去問を通じて、出題傾向や問題の難易度を把握することができました。また、解答解説が丁寧で、どこで間違えたのか、正しい解答への導き方を学ぶことができました。特に役立ったのは、タイムマネジメントのコツや問題を解く際の効率的なアプローチについてのアドバイスです。これにより、試験本番におけるプレッシャーを軽減し、自信を持って挑むことができました。過去問答練は、合格への大きな一歩となりました。

民法判例問題攻略講座のご感想・ご利用方法

この講座は、民法判例の理解を深めるために非常に有効でした。具体的な事例を通じて、複雑な判例のポイントを分かりやすく解説してくれるため、理解が進みました。講師の方々は、難解な法律用語を平易な言葉で説明してくれ、実践的な知識が身につきました。また、問題演習を通じて、実際の試験でどのように判例を活用するかを学ぶことができました。これにより、試験本番における自信が大いに高まりました。この講座は、民法判例の確実な理解と実践力を養うために非常に役立ちました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

アガルートアカデミーの総まとめ講座を受講した感想をお伝えします。総まとめ講座は、試験前の最後の仕上げとして非常に効果的でした。短期間で重要なポイントを総復習することで、知識をしっかりと確認し、不安を解消できました。講師の方々は、過去問や模擬試験を通じて実践的なアドバイスを提供してくれるため、試験当日に自信を持って臨むことができました。また、講義の進行がテンポ良く、集中力を切らさずに学習を続けることができました。特に役立ったのは、試験直前のチェックリストや勉強のコツの提供で、効率的な学習方法を学ぶことができました。総まとめ講座は、合格への大きな一歩となりました。最後のまとめが試験前に有効でした。

直前答練のご感想・ご利用方法

直前答練は、試験直前の重要なステップとして非常に有効でした。この講座を通じて、試験本番に向けた最終確認ができ、自信を持って挑むことができました。特に、本番さながらの模擬試験形式が非常に役立ちました。時間制限の中で問題を解くことで、実際の試験環境に慣れることができ、プレッシャー下での対応力が向上しました。

また、講師による解答解説も非常に丁寧で、各問題のポイントや解法を明確に理解することができました。自分の弱点を把握し、重点的に復習することで、短期間で大きな成果を上げることができました。

さらに、直前答練では、試験直前における効果的な学習方法や、メンタル管理のアドバイスも提供されました。これにより、試験当日において落ち着いて問題に取り組むことができました。

総じて、直前答練は、宅建士試験の合格に向けた最後の仕上げとして、非常に効果的であると感じました。直前期のそうしあげによかったです。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、実際の試験環境をシミュレートする絶好の機会でした。制限時間内に問題を解くことで、試験当日のタイムマネジメントの感覚を養うことができました。また、問題の出題傾向や難易度を把握し、自分の弱点を明確にすることができました。解答解説も非常に詳しく、なぜその選択肢が正しいのか、他の選択肢がなぜ間違っているのかを理解することができました。これにより、知識の定着がさらに深まりました。模擬試験を通じて、本番に向けた自信と準備が整い、非常に有益な学習体験となりました。